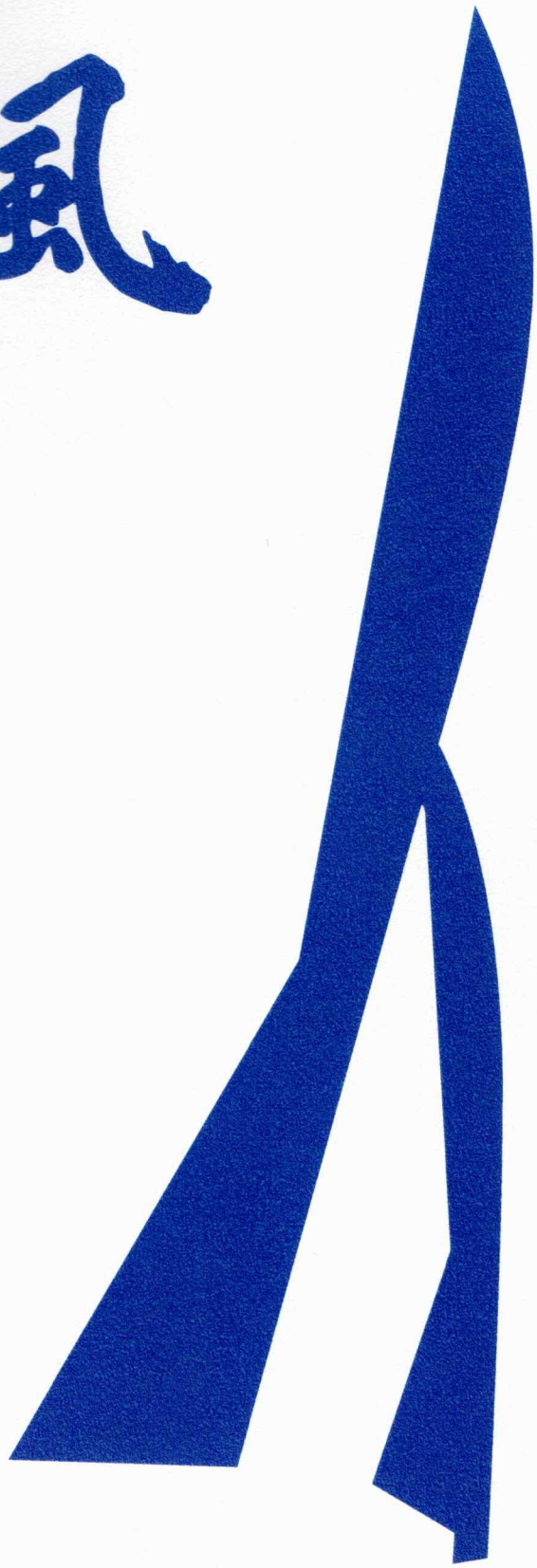
琴風

第52号



長崎大学ヨット部

目　次

1　　会長挨拶　　肥田　剛一

2　　主将挨拶　　梶原　快

3　　引退挨拶・SAGA 国スポ　　小倉　直人

4　　広　告

5　　収支報告

6　　阿南・矢津田メモリアル基金

7　　近況報告　　徳丸孝之・斉藤博・勝本富士夫

藤原和夫・平石敬三・川瀬彩・益冨ゆか・森一郎

8　　*Bon voyage*“バルチック”　　江上徹也・迫龍二・藤原久郎

内村勝美・大間賢一

9　　支部会だより

１０　大会成績表

１１　琴風会会則

１２　編集後記

会長挨拶

琴風会会長　肥田剛一

会員の皆様におかれましては、平素より現役部員にあたたかいご支援とご声援をいただき、心より感謝申し上げます。代々受け継がれてきた伝統と、皆様が築き上げてこられた歴史の重みを、現役部員も日々実感しながら活動しております。また、この会誌を持って、皆様と再びつながる機会をいただき、大変うれしく思っております。現在、部員数は２０名（4年：男2女0　3年：男3女2　2年：男7女1　1年：男4女1）です。おかげをもちまして､九州管内で部員数2位の賑やかな活動を展開しています｡部員は熱意を持ってヨットに向き合い、部としてのまとまりも強く感じております。また、OB・OGの方々から、アドバイスや部員の送迎サポートをしていただくなど、日々の活動を物心両面で支えてもらっています。この場を借りて感謝の気持ちをお伝えしたいと思います｡「お忙しい中、貴重な休日にもかかわらず、ヨット部を笑顔で支えていただき、誠にありがとうございます！」

さて、R6～R7ヨット部のトピックスを紹介させていただきます。

【R６】

3月　新人戦（福田サンセットマリーナ）　卒コン・追コン

4月　新歓クルージング　　新歓BBQ

5月　西日本インカレ（小戸ヨットハーバー）

6月　国体予選（福田サンセットマリーナ）　新観コンパ

7月　九州インカレ個人戦（小戸ヨットハーバー）　　九州４７０選手権（小戸ヨットハーバー）

9月　琴風会総会　＊今年も9月6日(土)18時～２１時：長大正門前フラワーメイト

10月　九州インカレ団体戦（平川ヨットハーバー）　県民体育大会（福田サンセットマリーナ）

11月　佐賀国体（長大から国際４７０クラスに小倉・中西組参加）

12月　クリスマスコンパ

【R7】

2月　　琴風会関東支部会

＊今年、江口支部長からNEW！北村支部長にバトンタッチしました。

＊綾部支部長よりご案内→令和7年7月12日（土）琴風会関西・中部支部会を開催

3月　新人戦（別府北浜ヨットハーバー）

今後も、現役・OBの垣根を越えた交流を大切にしながら、部の発展に努めてまいります。引き続きのご指導・ご鞭撻、何卒よろしくお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

心はひとつ「カプリ島」　俺たちヨットマン！　風と波の仲間は永遠に不滅です。

俺達ヨットマンだよ　風と波の仲間　海で会い　海で別れ
親しき仲間たち
忘られぬ汐の香り　　今日も求めて行く　俺達ヨットマンだよ
今日も海に集う
狂う白波の　時津の海で　ヒール殺し合う　若きクルーの歌
真白きセール帆上げて　共にティラー握り　俺達ヨットマンだよ
今日も海に競う　今日も海に競う

主将挨拶

新緑の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
この度、長崎大学ヨット部主将を務めさせていただきます梶原です。早いものでもう 4 年生になってしまいました。色々振り返りながら、執筆できればと思います。

まず簡単に私の自己紹介からさせていただきます。出身は、福岡県久留米市というところです。因みに、歌手で女優の松田聖子さんと同郷です。幼い頃からアウトドアで小中は野球部に所属していましが、高校では帰宅部でした。大学では工学部電気電子工学科に所属しており、最近は研究室に配属され日々研究に励んでおります。
座右の銘は、”初志貫徹”です。
好きな言葉は、”謙遜の上には奢りがあり,謙遜の下には卑屈がある”

次に長崎大学ヨット部の近況報告をさせていただきます。先代主将の小倉さんより引き継ぎ、早半年が過ぎました。冬練を乗り越え、代交代後最初の公式戦である新人戦(In 別府)を終え、現在新歓(試乗会)の真っ只中です。新人戦では前入りをし、日本経済大学さんの練習に一日参加させていただきました。そこで初めて目にする練習法や緊張感のあるレース練習を経験しとても刺激的な一日でした。新人戦一日目は天候不良によりノーレースとなりましたが、二日目は強風の中 3 レース実施され大会を無事終えることができました。しかし、新人戦を終えるとすぐに高校総体の運営や新歓の準備でばたばたしており、あっという間に春休みが終わりました。毎年、この時期は特に忙しいですね。新歓の進行状況といたしましては、今年は特にビラ配りや SNS 広報に力を入れたこともあり、毎週 10 人以上の一年生が参加してくれています。また、昨年とは違って試乗会日和の天気が続いており順調に進んでいます。

今後の展望についてお話いたします。
私は主将に任命された際、軸として”周りを見れるチーム”にしたいと思いました。周りを見るという事は、各々が自分だけのことだけ考えるのでなく広い視野を持って行動してほしいという思いからこの軸にしました。これは人に対してのみでなく艇(船)についても当てはまります。船の整備は海上で艇のパフォーマンスを十分に発揮するための準備にあたるものだと考えています。以前大会でレース中にテンションが切れるというアクシデントが起こった艇がありました。これも整備(準備)不足が原因です。ヨットレースに関わらず、何に対しても準備というものは必ず必要になると思います。そのためにも周りを見るという事を意識して行動するよう伝えていきます。また、2 週間に一回平日に全体ミーティングを実施しており、今まではスケジュールの確認や行事の確認など運営サイドでの内容を多く取り扱ってきましたが、今後は座学する機会を多く設け部全体の知識・スキルの向上につなげたいと思います。少し話がそれたかもしれませんが、大会で結果を出すべく試行錯誤を重ねながら強いヨット部にすべくこれからも精進してまいります。
OB,OG の皆様、ヨット部に関わる皆様へ
我々現役部員が練習できていること、大会に出場できていること全ては OB,OG さんの多大なるご支援があってからこそです。心より感謝申し上げます。
今後とも変わらぬ温かいご声援、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。
拙い文章でしたが最後までお読みいただき有難うございました。

長崎大学ヨット部 72 代主将　梶原　快

ヨット部引退挨拶

長崎大学大学院１年　小倉直人

ご無沙汰しております。この度長崎大学ヨット部を晴れて引退しました OB１年目の小倉です。若輩者ですがこれからどうぞよろしくお願いします。私事ですがこの春長崎大学を卒業いたしまして同大学大学院に進学することになりました。貝原さん、肥田さんをはじめとする多くの OB、OG さんには４年間大変お世話になりました。この場をお借りして厚く感謝申し上げます。あと２年長崎にいる予定なので後輩たちに少しでも還元できるよう努めてまいります。

さて、今回で琴風冊子を書かせていただくことが３回目となりましたが、現役の時と違って今回は引退した身から書かせていただくので正直何を書こうか漠然としておりますが､最後までお付き合いいただけると幸いです。（拙い文章になるかとは思いますがご容赦ください。）

まずヨット部で過ごした４年間を振りかえった時思い出すのはやはり新歓です。４年前入学して間もない頃に出会ったのが同郷出身の近藤先輩でした。当時入学して右も左もブローも分からなかった私を子々川へ連れていってくださったのが僕のヨット部ライフの全ての始まりでした。１年生の頃は自分自身どのサークル、部活に入ろうか何も決めておらず、けど４年間何か打ち込めるものが欲しいと考えており元々マリンスポーツには興味があったのでちょうどヨットは良さそうだなとぼんやりした感じで入部したのは覚えています。実際その当時同期が自分含めて４人いてヨットより飲み会やイベント事など、先輩たちや同期と過ごすことが楽しかったです。正直その時はコロナ渦で部活の時間制限があったりとヨットの魅力や楽しさは分かりませんでした。今思うと当時辞めなかったのは先輩方や同期の存在があったからだと思います。そんな感じで１年生を終わろうとした時、ふとヨットの知識も技術の無く新歓準備を迎えることになり、自分の中で焦りと不安が芽生えました。「先輩(当時３年生)が抜けて自分らが下手くそな状況で後輩が入ったら全員辞めてくか部が崩壊するのではないかと。(あと後輩より下手だったら立場がないなとも思った気がするような…)」そこで新歓中に行われた西インに金城先輩と出場したのが今のヨット愛とヨット熱の原点だと確信しています。金城先輩に確か自分から大会に出たいと直訴して出たような気がします（確か…)。長崎大学からは１艇しかエントリーせず小戸に着いて完全アウェーな雰囲気で３日間レースして結果はとても人に言えるようなものではなく悔しさも当然あったのですが、大会を通して艇団に入っていけたり自分の成長を感じワクワクが止まらなかったのを覚えています（もうヨットの虜ですね)。そこからは、ヨットのモチベーション爆上がり（僕はこれをヨット病と言っていました。）でどんどん上達して当時ペアを組んでいた金城先輩と九州で前走るぞー！とか福大の G. A ちゃん倒す！などと意気揚々とやっていました。懐かしいですね。また一緒に乗りましょう。そして４年生が引退をして自分の１つ上がいなかったので自分が２年次に部長に任命されました。2～４年生の２年間部長をして（4 年生の時はほぼ肩書だけの部長でした。率先して色々やってくれた後輩たち本当にありがとう。）部員をたくさん辞めさせてしまったり、大会であまり結果を出せないで自暴自棄になりかけたり、特に OB、OG さん方には本当にいろいろご迷惑をおかけしました。先輩、後輩のたくさんの支えがあり何とか部長をやり遂げられたと思います。

部長をやっていた時の話も諸々あるのですが、ヨット部の４年間の思い出で一番印象に残っていることは国体に出場できたことです。１～３年生の間たくさん大会に出てきたのですが、ろくに結果も残せず、でもこのまま４年間なにも残せずヨット部を引退するのは嫌だという気持ちで望んだ国体予選。天候にも恵まれ？なんと国体本戦に出場することができとても嬉しかったです。県連から Mackay をお借りして院試の合間を縫って貝原さんとウッキウキで整備したのは楽しい思い出の一つです。そんなこんなでいざ望んだ国体なのですが、会場に着くや否や一歩歩いたらヨット界のスーパースターやレジェンドばかりで自分が果たしてこんなところにいていいのかと思いました。戦う前から圧倒されている気分でした。レースでは連日風速 20 knot 以上、波高２m 越えという子々川では体験したことのない海面でした。すごくハードなコンディションでしたが無事完走できたことや中～後の艇団には食らいついていけたのでやはり練習は大事だと身に染みて感じました。国体では日本トップレ

ベルの戦いを生で見れたことや他のセーラー達と交流できたこともちろん嬉しかったのですが、何より家族やOB、OGさんが唐津まで足を運んで下さって応援してくださったことが一番嬉しかったです。1日2レースだったのですが強風過ぎて着艇する時かなりクタクタだったのですが声をかけてくれたことがどれだけ励みになったことかと思うと本当に感謝でいっぱいです。（着艇後に話し過ぎて着艇申告漏れだったことはさておき…）

最後になりますが冒頭でも申し上げましたが今このように内容を報告できることもヨット部をずっと存続させてきてくださった先輩方がいたからこそ私も4年間何の不自由もなくヨットを楽しむことができましたし、大会にも出ることができ国体ではセールのご購入までしてくださり本当に感謝してもしきれない恩があります。現役の時は先輩方にこれといって大した恩返しができませんでしたが、これからはOBとして長崎大学ヨット部を支えることを誓います。また、一緒になってヨットを頑張りたいと思ってついてきてくれた後輩たちにも本当に感謝しております。ありがとうございました！まだまだ子々川でヨットの整備やヨットに乗ろうと思うので、先輩方もいつでも子々川に足を運んでください。心よりお待ちしております。

P.S. 最後に思い出深い写真を載せようと思います。

ヨットが大好きです。今度は嘘じゃないっす

一年生の時撮った集合写真

当時「俺たちが九州で一番速い！」と豪語してた時

パリオリンピック銀メダリストの岡田選手と写真撮らせていただきました

最後の団体戦が終わり積み下ろし後の集合写真

無事卒業出来ました

中西洸/小倉直人、国際 470 級の佐賀国スポ応援に 62 名の会員より 548,000 円のご寄付をいただきました。最終成績は 37 チーム中 34 位と少し残念な結果でしたが、小倉君の引退挨拶にあるよう大きな財産となったようです。皆様の応援に改めて感謝もうしあげます。

レース中、短時間ではありますが 2020 東京オリンピック銀メダリストを抑えフリートトップを走り、長崎大学ヨット部の名を全国にとどろかせたことを、報告いたします。

SAGA 2024 国スポ・全障スポ KARATSU

第78回国民スポーツ大会セーリング競技会

成年男子 470級 種目別得点集計表

2024年 9月28日(土)～10月 1日(火)　　唐津市　佐賀県ヨットハーバー

成年男子 470級			1R			2R			3R			4R			5R			6R			総得点			総合
順位	県番号	都道府県名	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	合計	除外	得点	順位
1	41	佐賀県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	6	6	6	12	6	6.0	1
2	25	滋賀県	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	8	8	8	21	21	21	39	21	18.0	2
3	14	神奈川県	5	5	5	6	6	6	7	7	7	19	19	19	5	5	5	1	1	1	43	19	24.0	3
4	35	山口県	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	24	24	24	18	18	18	52	24	28.0	4
5	31	鳥取県	4	4	4	4	4	4	8	8	8	5	5	5	7	7	7	17	17	17	45	17	28.0	5
6	8	茨城県	7	7	7	5	5	5	10	10	10	6	6	6	1	1	1	11	11	11	40	11	29.0	6
7	13	東京都	8	8	8	7	7	7	4	4	4	7	7	7	6	6	6	8	8	8	40	8	32.0	7
8	46	鹿児島県	6	6	6	8	8	8	9	9	9	4	4	4	9	9	9	19	19	19	55	19	36.0	8
9	28	兵庫県	11	11	11	10	10	10	5	5	5	16	16	16	10	10	10	3	3	3	55	16	39.0	9
10	44	大分県	UFD	UFD	38	9	9	9	6	6	6	8	8	8	4	4	4	14	14	14	79	38	41.0	10
11	47	沖縄県	9	9	9	15	15	15	UFD	UFD	38	9	9	9	13	13	13	2	2	2	86	38	48.0	11
12	24	岐阜県	12	12	12	11	11	11	14	14	14	15	15	15	3	3	3	10	10	10	65	15	50.0	12
13	37	徳島県	10	10	10	20	20	20	12	12	12	11	11	11	20	20	20	4	4	4	77	20	57.0	13
14	11	埼玉県	19	19	19	17	17	17	11	11	11	10	10	10	BFD	BFD	38	5	5	5	100	38	62.0	14
15	34	広島県	13	13	13	13	13	13	16	16	16	12	12	12	21	21	21	16	16	16	91	21	70.0	15
16	23	三重県	14	14	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	16	16	16	25	25	25	95	25	70.0	16
17	22	愛知県	22	22	22	22	22	22	22	22	22	20	20	20	11	11	11	9	9	9	106	22	84.0	17
18	20	福井県	30	30	30	21	21	21	20	20	20	21	21	21	12	12	12	12	12	12	116	30	86.0	18
19	12	千葉県	15	15	15	16	16	16	30	30	30	14	14	14	BFD	BFD	38	24	24	24	137	38	99.0	19
20	33	岡山県	20	STP	21	18	STP	19	17	17	17	17	17	17	26	26	26	31	31	31	131	31	100.0	20
21	2	青森県	17	17	17	23	23	23	21	21	21	18	18	18	25	25	25	30	30	30	134	30	104.0	21
22	3	岩手県	23	23	23	31	31	31	18	18	18	27	27	27	23	23	23	15	15	15	137	31	106.0	22
23	40	福岡県	18	18	18	12	12	12	DNC	DNC	38	DNC	DNC	38	BFD	BFD	38	7	7	7	151	38	113.0	23
24	19	石川県	16	16	16	DNF	DNF	38	25	25	25	23	23	23	27	27	27	22	22	22	151	38	113.0	24
25	15	山梨県	24	24	24	25	25	25	28	28	28	DNC	DNC	38	28	28	28	13	13	13	156	38	118.0	25
26	39	高知県	27	27	27	19	19	19	23	23	23	22	22	22	29	29	29	29	29	29	149	29	120.0	26
27	45	宮崎県	UFD	UFD	38	29	29	29	15	15	15	25	25	25	18	18	18	34	34	34	159	38	121.0	27
28	4	宮城県	29	29	29	DNC	DNC	38	24	24	24	24	24	24	17	17	17	27	27	27	159	38	121.0	28
29	5	秋田県	RET	RET	38	DNC	DNC	38	19	19	19	26	26	26	14	14	14	26	26	26	161	38	123.0	29
30	26	京都府	31	31	31	28	28	28	29	29	29	31	31	31	19	19	19	20	20	20	158	31	127.0	30
31	38	愛媛県	21	21	21	DNF	DNF	38	32	32	32	32	32	32	22	22	22	32	32	32	177	38	139.0	31
32	16	新潟県	28	28	28	26	26	26	33	33	33	30	30	30	30	30	30	28	28	28	175	33	142.0	32
33	1	北海道	RET	RET	38	27	27	27	DNF	DNF	38	29	29	29	15	15	15	35	35	35	182	38	144.0	33
34	42	長崎県	25	25	25	30	30	30	27	STP	28	DNF	STP	38	32	32	32	33	33	33	186	38	148.0	34
35	18	富山県	DNF	DNF	38	24	24	24	31	31	31	28	28	28	33	33	33	36	36	36	190	38	152.0	35
36	17	長野県	UFD	UFD	38	33	33	33	26	26	26	DNF	DNF	38	34	34	34	23	23	23	192	38	154.0	36
37	21	静岡県	26	26	26	32	32	32	34	34	34	DNF	DNF	38	31	31	31	37	37	37	198	38	160.0	37
–	6	山形県	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	7	福島県	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	9	栃木県	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	10	群馬県	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	27	大阪府	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	29	奈良県	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	30	和歌山県	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	32	島根県	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	36	香川県	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	43	熊本県	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

日付	9月28日	9月28日	9月29日	9月29日	9月30日	9月30日
天候	曇り	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ
風向	30°	30°	50-45°	30°	5-10°	15°
風速	17-20kt	14-19kt	14-20kt	17-21kt	10-7kt	10-8kt
波高	1.5m	1.5m	1.5m	1.5m	0.5m	0.5m
コース	O2	O2	O2	O2	O2	O2
スタート時刻	13:00:00	14:00:00	09:30:00	10:50:00	14:25:00	15:30:00
最初の艇フィニッシュ時刻	13:30:17	14:32:29	10:06:36	11:23:53	15:07:38	16:12:10
レース終了時刻	13:42:17	14:44:29	10:18:36	11:35:53	15:12:56	16:17:45
出走艇数	37 艇	35 艇	36 艇	35 艇	37 艇	37 艇

2024/9/30 16:40

SAGA 国スポ応援、ありがとうございました

2024 年国スポ佐賀大会にご寄付をいただきました（入学年度順）

天野　実	上坂　政勝	高原　武彦	江上　徹也	川越　温美	西山　英行
川嵜　滋	堀居　堅	大谷　光也	前田　昌顕	迫　龍二	塚本　徳男
田中　修一	田中　光代	佐藤　一敏	宮崎　徹	中　恵子	福田　真理
大間　賢一	中村　道夫	福田　豊	田代　雅美	徳島　尚	稲岡　晴紀
藤原　久郎	藤澤　信明	斉藤　博	勝本　富士夫	松下　勝美	盈　辰博
佐々　和明	片木　敏彦	蟹江　康夫	佐藤　恵子	井手　稔	米原　浩一
八幡　和幸	荒川　敏明	糸永　正明	荒木　秀一	乙吉　隆司	林　日出喜
貝原　宗重	吉村　博	原　佳伯	江口　和哉	島崎　勲	中尾　剛規
村井　清文	綾部　洋一	大串　豊美	大塚　一徳	神崎　修	肥田　剛一
永富　和義	斉藤　賢治	藤井　崇博	中島　貴史	後藤　寛幸	後藤　菜穂
羽野　太佳夫	野原　光	金城　伶旺			

記載もれがありましたら、是非、琴風会事務局：貝原までご連絡お願いいたします。

長崎大学ヨット部琴風会事務局　〒8528061　長崎市滑石 5－16－6　貝原宗重

医療法人 江上耳鼻咽科・めまいクリニック
長崎市銅座町２－15NK イリスビル 3F
No.64 S35 入学　江上　徹也

株式会社 鍋島
福岡市博多区吉塚 4-6-12-208
No.92.93 S41入学　田中修一・光代

あじさい・波多野
税理士法人
長崎市万才町6－35－2F
No.100 S42入学　波多野　徹

医療法人 福田ゆたか外科医院
長崎市浜口町３－５
No.116 S43入学　福田　豊

医療法人 勝本外科 日帰り手術クリニック
北九州市小倉北区足立２－１－10
No.131 S45 入学　勝本　富士夫

井手耳鼻咽喉科クリニック
宮崎県延岡市出北１－４－12
No.147 S48入学　井手　稔

みつる公認会計士事務所
福岡市中央区荒戸２丁目１－８
No.137 S47 入学　盈　辰博

漢方薬局 たんぽぽ
筑紫野市筑紫 7-1 弁入ビル 1F
No.153 S49 入学　長田　理恵子

Smart Life Co.
福岡市城南区七隈 1-5-18
No.189 S53入学　原　佳伯

掲載広告募集

肥田塾数学専科
諫早市真崎町 836－5
No.189 S56 入学　肥田　剛一

肥田塾 検索
090-8399-3916

オーケー薬局
長崎市銅座町２－15NK イリスビル１F

マリン薬局
長崎市浜口町３－16

カサマツ薬局
諫早市山川町１－５

わかば薬局
佐賀県西松浦郡有田町大木宿乙 844－4

No.110 S43 入学　大間　賢一

本号も皆様の協賛により発行できました。
ありがとうございます。

2024年度　琴風会収支報告

【収入】

	内　　訳	金額(単位:円)	摘　　要
Ⅰ	年会費	400,000	80名
Ⅱ	阿南･矢津田基金	340,000	54 名 8,173,000円(20011年度から総額)
Ⅲ	国スポ応援寄付	548,000	63 名
Ⅲ	広告費	460,000	11 件
Ⅳ	預金利息	286	
Ⅴ	前年度繰越金	538,155	
	収入合計	2,286,441	

＊広告費として原佳伯氏(S53 年入部)より24 万円

昭和 35 年～昭和 56 年入部　111 名中 67 名入金　　1,594,000円

昭和 57 年以降入部　　143 名中 31 名入金　　160,000円

【支出】

	内　　訳	金額(単位:円)	摘　　要
Ⅰ	通信費	97,684	「琴風」送料･振込手数料･その他
Ⅱ	印刷代･ホームページ	190,304	「琴風」
Ⅲ	学生へ援助金	925,596	新入生勧誘費用 艇運搬･整備備品等･国スポ応援
Ⅳ	活動費(慶弔費)	0	
Ⅴ	70 周年新艇購入費	返済金　0	2022 年艇購入100万円借り入れ
	支出合計	1,213,584	

差引残高　　￥1,072,857　　2025 年 3 月 31 日現在　次期繰越金へ

2024年度支出細目

琴風誌・ホームページ	190304
郵便・印紙	97684
封筒	1244
新歓費用援助	150000
艇運送費	465365
TOK(部品他)	47987
セールクラフトジャパン	2171
救助艇備品（フェンダー）	8240
ゆうこうマリン	48125
Okumuraboat（ガジョン）	7370
艇整備備品	24958
North　Sails　Japan（国スポ）	205140
Factory Zero（国スポ） Jib In-Out	31,911
その他	42,702
合計（円）	1,324,445

皆で育てる「阿南・矢津田メモリアル基金」その 13

稲岡先輩アルバムより

2024 年度にご寄付をいただきました（入学年度順）

天野　実	福島　昭男	江上　徹	山口　俊明	西山　英行	川嵜　滋
堀居　堅	前田　昌顕	佐野　義一	塚本　徳男	田中　修一	田中　光代
田中　洋	波多野　徹	中　恵子	大間　賢一	中村　道夫	松尾　憲昭
田代　雅美	徳島　尚	稲岡　晴紀	細波　文男	藤澤　信明	勝本　冨士夫
盈　辰博	佐々　和明	片木　敏彦	蒲生　公義	蟹江　康夫	井手　稔
米原　浩一	八幡　和幸	龍尾　一信	八百山　孝	荒川　敏明	糸永　正明
荒木　秀一	乙吉　隆司	貝原　宗重	林　日出喜	吉村　博	原　佳伯
江口　和哉	中尾　剛規	村井　清文	綾部　洋一	宮崎　新治	大串　豊美
仁田原　司	大塚　一徳	神崎　修	畑田　英樹	肥田　剛一	仙波　俊弘
永富　和義	濱田　建一郎	前川　清隆	中村　賢司	中村　真理子	田井　隆之
田井　みのり	小針　美樹	矢頭　宏一	矢頭　奈菜子		

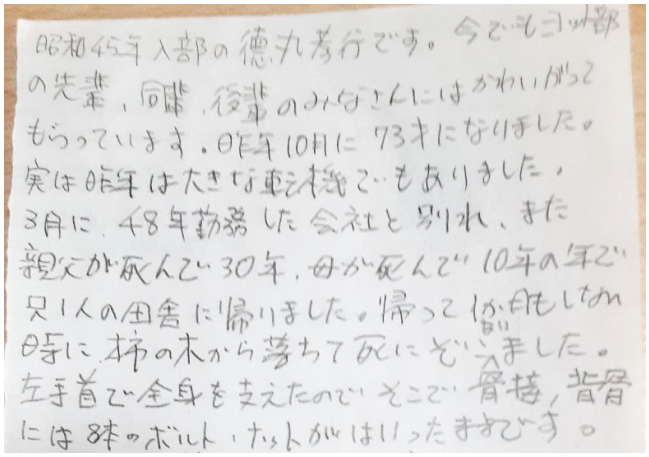
＊昭和 48 年までの入部の皆様は、昨年度より会費任意となられていますので会費分も基金への寄付として記載いたしております。会計としては 5,000 円を会費・+アルファを基金への寄付としております。

記載もれがありましたら、是非、下記琴風会事務局までご連絡お願いいたします。

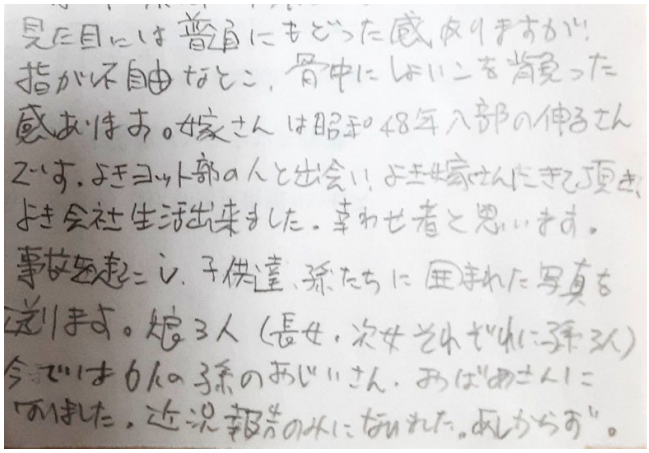
長崎大学ヨット部琴風会事務局　〒8528061　長崎市滑石 5－16－6　貝原宗重
E-mail: sps84na9@jupiter.ocn.ne.jp

柿木より落下！

昭和 45 年入部　徳丸　孝行



昭和45年入部の徳丸孝行です。今でもヨット部の先輩、同輩、後輩のみなさんにはかわいがってもらっています。昨年10月に73才になりました。実は昨年は大きな転機でもありました。3月に、48年勤務した会社と別れ、また親父が死んで30年、母が死んで10年の年で只1人の田舎に帰りました。帰って1か月もしない時に、柿の木から落ちて死にぞこないました。左手首で全身を支えたのでそこで骨接、背骨には8本のボルト・ナットがはいったままです。



見た目には普通にもどった感ありますが、指が不自由なとこ、骨中にしょいこを背負った感あります。嫁さんは昭和48年入部の伸子さんです。よきヨット部の人と出会い、よき嫁さんにきて頂き、よき会社生活出来ました。幸わせ者と思います。事故を起こし、子供達、孫たちに囲まれた写真を送ります。娘3人（長女、次女それぞれに孫3人）今では6人の孫のおじいさん、おばあさんになりました。近況報告のみになれた。あしからず。

琴風誌 2025 年 3 月近況

昭和 51 年卒の齊藤博です

75 才を過ぎ新しい保険証（後期高齢者医療保険者証）をいただきました。腰の痛みとそれなりの物忘れは当たり前と気にせず生きております。五月から今のクリニックから同じ施設の老健に異動となります。今の時代自宅で過ごせるお年寄りは少なくなり介護施設はあふれんばかりの状況です。いつかは自分もお世話になる場所と認識しています。これまで累代の所長さんは任期中に亡くなられた方が 3 名、病気でやめられた方が 2 名とそれなりに過酷な職場なんだろうと思います。でも昔のヨットマン魂を思い出し、新しい風に向かって切りあがっていこうと思っております。

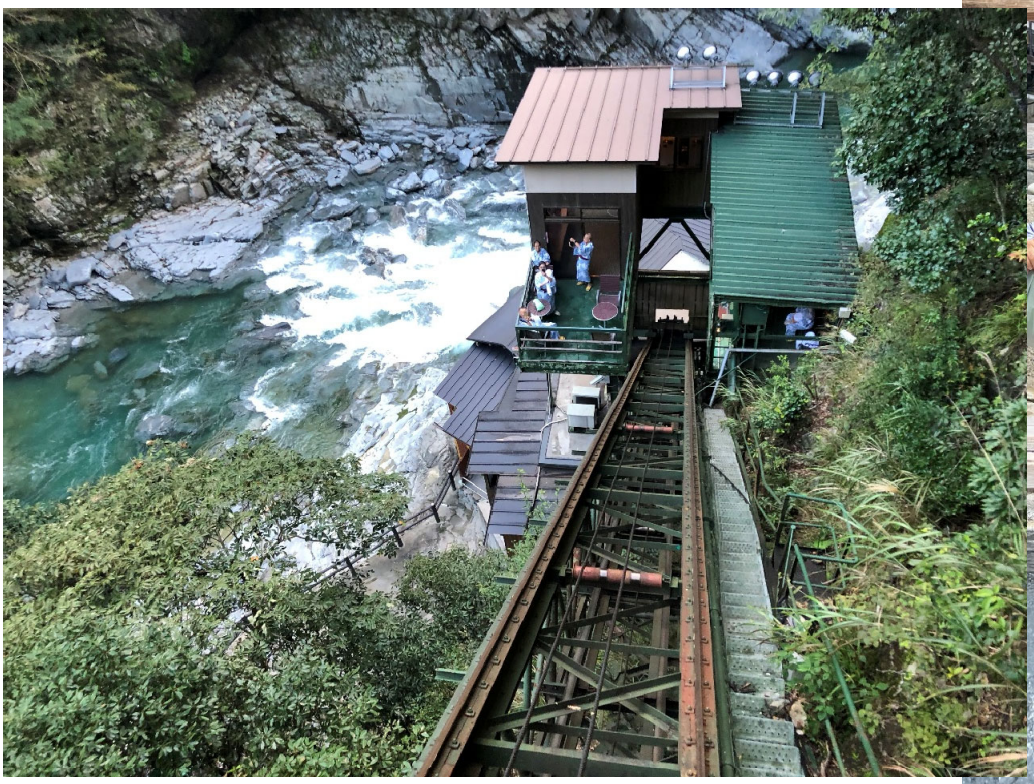
ちなみに私は 51 年卒、勝本君や本田君、財前君と同期です。琴風は毎回楽しく読ませていただいています。また名簿一覧も、懐かしいお名前があったりと思い出に浸りながら見させていただいています。

追伸：

いつか「夏のクルージング思い出特集」を組んでみませんか？私は 1 回しか参加していませんがとても印象深く思い出に残っています。だいぶ前になりますが NHK のドラマで針尾の電波塔を舞台にしたものがありました。ドラマに映った背景に海が見えるのですが不思議と懐かしい思いがあり、記憶をたどりましたら西海橋ではありませんか。ドラマで出てくる漁村にまず止まり翌朝あの渦潮の中を渡っていくのです。わたしの時は救助艇「琴風」が竣工した年でそれで西海橋の下をわたりました。突如大渦に巻き込まれ多くが海に投げ出されました。幸いどなたも遭難せずに無事助かりました。今は亡き OB の方も一緒におられさぞかし肝を冷やされたことと思います。危険と楽しさの同居したクルージング。毎回いろいろなドラマがあったと思います。どうぞよろしければそんな企画もお願いします。

澁谷先輩よりいただいた“琴風 42 号クルージング原稿”より（編集者引用）

九駒温泉
千歳郡千歳村字烏柵舞番外地
営業人 佐々木初太郎
泉秘湯を守る会
泉秘湯を守る会
泉秘湯を守る会



昭和４５年入部　勝本　富士夫

S55 入部　藤原です。　近況報告を送ります

S55 入部　藤原です。
卒業し愛知に来て、40 年になりました。
会社も 60 歳で定年を迎え　現在再雇用で働いています。
海には行けてませんが　日々　バイク&スキー＆スノボで楽しんでいます。
1 年半後　夢の年金生活に入る事を楽しみにしています。
写真は　2024/11 に行った　南アフリカ　ケープタウンです。
レンタルバイクで 1500Km 走りました

ケープタウンと街中のハーバー

近況報告

2000 年(平成 12 年)にヨット部に入部した平石敬三と申します。ご無沙汰しております。　この度琴風会誌への「近況報告」のご依頼を頂きましたので、卒業後から現在までを振り返りながら書きたいと思います。

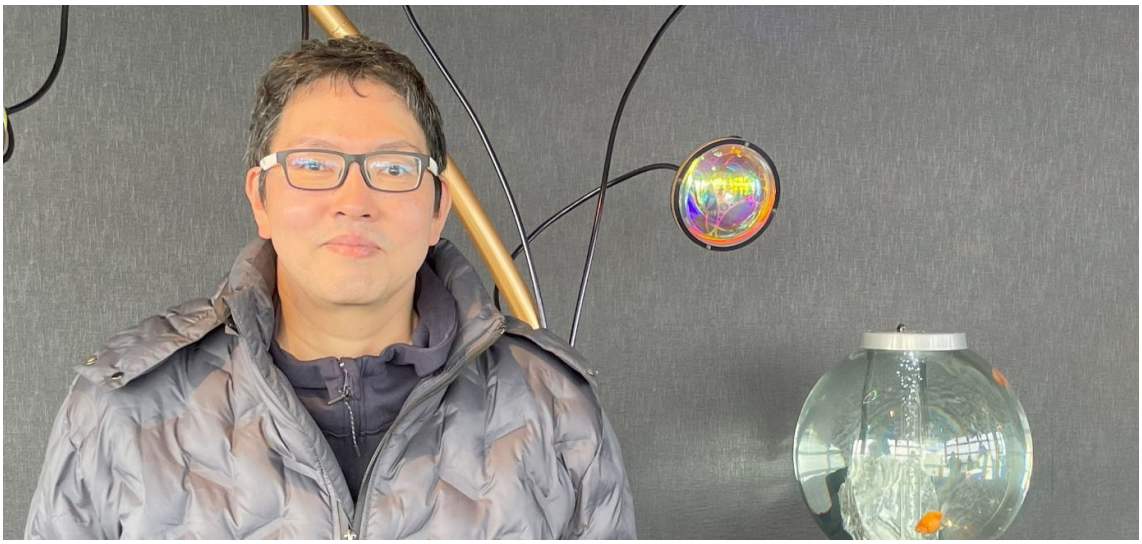
同期の満永君、望美さん達より 1 年遅い 2005 年(平成 17 年)に長崎大学　工学部　応用化学科(現 : 工学科化学・物質工学コース)を卒業したあと、茨城県つくば市⇒横浜市⇒福岡市⇒アメリカ　コネチカット州⇒福岡市⇒香川県高松市⇒神戸市というふうに仕事と場所を転々としてきました。そして 2022 年より福岡大学の教員として研究活動と教育活動を行っています。

いまから 10 年前の 2015 年は、関東から九州(福岡)に戻ったタイミングになります。関東在住時には。関東在住の OB の皆様には大変お世話になりました。新宿のど真ん中で円陣を組んで Go Ahead !をしたのはいまだに覚えています。福岡に移住した後は、縁があり福岡大学大学院　博士課程に入学し 2020 年に学位を取得しました。その間にアメリカ　コネチカット州(ニューヨークとボストンのちょうど真ん中あたり)の大学に留学する機会を得るなど､久しぶりの学生生活を楽しんでいました｡学位取得後は企業で働いたのちに、福岡大学に赴任し、現在に至ります。今はヨットと縁遠い生活をしていますが、福岡在住なのでたまに小戸ヨットハーバー近くのコーナン(以前はハイパーセンターオサダだったと記憶しています)や姪浜駅、マリノアシティ(残念ながら 2024 年で閉館しました)など遠征時の懐かしい場所を散歩したりドライブしたりしています。

今年で大学を卒業して 20 年が経過し、この原稿を書いている段階で 45 歳の誕生日が来てしまいました。生まれてから大学を卒業するまでずっと長崎に住んでいましたが、卒業のタイミングで県外に出ていき、いつの間にか 20 年近くがたってしまいました。毎年正月、ゴールデンウィーク、お盆休みなどの長期休暇や連休時に長崎に帰ってきていますが、長崎の変化になかなかついていけていない自分がいます。長崎に観覧車ができ、長崎駅に新幹線が来るようになって、市役所や県庁も移転し、新しいサッカースタジアムもできた・・・いうふうにめまぐるしく発展していくのを感じます。わが母校長崎大学も図書館や食堂、在籍していた工学部も新しく建て替わっていました。また長崎から子々川までの道路も拡張され、数多くの大きいお店ができているのは驚きました。

現役の皆様のご活躍は LINE でお知らせいただいています。練習風景の写真やレース結果など楽しく拝見させていただいています。ドライブで大村湾を一周したり眺めたりしていますが、子々川には行けていません。ですのでいつかまた子々川に行ってみたいです。

今後も長崎大学ヨット部のさらなる発展をお祈りいたします。



島根から

平成 22 年入部　川瀬（楠本）　彩

2014 年に卒業後、約 3 年間、長崎県佐世保市の九十九島で真珠養殖の仕事に携わっていました。
2017 年、同じヨット部だった川瀬翔馬さんと結婚するため横浜に転居。結婚後は TASAKI の本社で働いていました。
2019 年に長男を出産し、翌 2020 年には夫の転職に伴い島根県出雲市へ転居。私も市内の水道会社で事務職として働き始めました。
2021 年には長女が誕生。そして 2025 年 4 月からは、夫が隠岐へ単身赴任となり、新一年生になった息子と年少の娘との 3 人で、新たな生活をスタートさせたところです。
数年前、「琴風」で夫が「息子は風が苦手だ」と書いていたことがありましたが、気がつけばいつの間にか息子は風を克服していたようです。
一方で、今度は娘に風嫌いの時期が訪れていて、風の強い日には大泣きすることも。
子どもたちの成長の瞬間を、できるだけ見逃さずにいたいと感じる日々です。

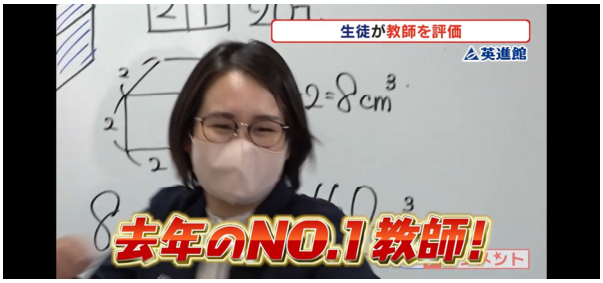
みなさん、こんにちは！平成25年度卒の益冨です

現役の頃は、ヨット部が楽しくて、ヨットが楽しくて、ヨット中心の生活を送っていました。ヨット部旅行や誕生日会、温泉、ホラー会など、いろんな楽しみを教えてもらいました。真っ黒に日焼けして、脚にアザをつくり、ほぼ
すっぴんで過ごしていた頃が懐かしいです。女子インに参加し、神奈川にもいきました。大村湾のうねりとは比にならない大きなうねりに驚きました。同期のキャプテン、黒一点の森くんも夜行バスで応援に来てくれました。西インでは、トラッピーズに出ていたらバンッ！……視界良好…あ！ジブが切れてる！なんてこともありました。引退試合で後輩の菜穂と上マークを1位か2位くらいで回れた時の喜びと動揺、最終レースで強風の中ボラが飛び込んできてボラと共にレースを終えたことなど、、、今思い出すと笑えますが、当時は楽しくも必死 でした。

女子インにて同期5人で

ヨット部で『おかん』と名付けられ、同期、先輩方におかん、おかんと呼ばれていました。今でも呼ばれていま す。後輩はお酒の場で、おかーんと呼んできたような、ないような。大学を卒業し、大学院に進んでも毎週のように子々川に通っていました。先輩、同期、後輩に恵まれていたと思います。

修了後、九州の学習塾に就職しました。大学で学んでいた生物は封印して、算数と数学を教えています。福岡の天神から始まり、大野城市、西新、そして今は小戸を飛び越え九大学研都市あたりで働いています。職場は福岡を転々としています。貝原さんの母校である修猷館をはじめ、みなさんの母校の後輩たちを育てておりま す。2年前にはちょこーっとだけ、テレビにも出ました。



小戸に近いのに、仕事柄土日休みが少なく数回しか小戸に応援に行けていません。子々川に行く機会も減り、現役の子からお電話いただくと『ますとみさん』と呼ばれます笑。『えきとみ』です。私もOB係で恐る恐る電話していたのを思い出します。えきとみでも、ますとみでも大歓迎ですので連絡待ってます。

仕事で身の上話をする際は、先生は大学でヨットしてたんだ、と話をします。福岡は、生徒がちらほらヨットをしていたり、私が話し続けたおかげ？か、高校生になってヨットを始めたよ！と報告に来てくれる子もいました。

自分自身は海は遠ざかりましたが、いつか生徒の中から長大ヨット部に入部する子供たちがいればなーなんて思っています。

現在のヨット部との交流といえば、毎年2〜3回、一つ上のこはりさんと旅行に行っています。旅の目的はヨット部めぐりみたいなもので、最近は毎年島根にお邪魔して川瀬家のみなさんに構ってもらっています。その他に も、ひとつ上のちあきさん、みやけんさん、同期のいちろー、後輩のなーこ、なほなど、本人およびその子供たちと戯れる時間があることに幸せを感じています。今年は誰に会えるかな？

平日休みが多く、年に2回ほど平日の連休があるのでひとり旅もしています。旅行は好きなのにチリが弱いので行き先がギリギリまで決まらないのが悩みです。

こはりさんと草千里にて

ちあきさん、こはり、益冨

スーザンさんがいる対馬へ（矢頭、なーこ、益冨、こはりさん、翔馬さん）

福岡に立ち寄ることがあれば連絡お待ちしています。飲みましょう！
（飲む機会も減り、だいぶ飲めなくなってしまいましたが）飲みましょう！

「卒業して１０年たった今」

平成２６年卒　森　一郎

原稿の依頼があって、何を書こうか迷いましたが、私が現役当時に思っていたことと今の私の報告をさせてもらいます。

長崎大学を卒業して早１０年が過ぎました。学生時代のことが良き思い出としてとても残っています。生まれも育ちも熊本県人吉市で山の中で育った私は海とは縁がない人生を送っていました。そのため、長崎大学に入学当時、まさかヨット部に入るとは考えもしていませんでした。

入学後、中部議堂の前で当時水産学部の４年生だった大田さん（以下、キョースケさん）に声をかけられたのがきっかけとなりヨット部と出会いましたが、試乗会でヨットに乗ったときは「なんて優雅なスポーツなのだろう」という印象で、高校時代に朝から晩まで部活に明け暮れた日々を思うと、気楽で良いなと思っていました。

子乃川での練習はヨットに慣れるまで大変ではありましたが、先輩方のご指導で楽しく練習に取り組めていました。風も気持ちの良い程度しか吹かず、難なくヨットに乗っていたように思います。しかし、ヨットのきつさと難しさの洗礼を受ける機会がやってきました。それが、大学１年次に行われた九州インカレです。

鹿屋のヨットハーバーで行われましたが、ヨットというスポーツに絶望した瞬間でした。風が強く、目の前で何艇も沈をしている光景は目に焼き付いており、怖かったことを覚えています。一緒に乗ったキョースケさんとの艇も何度も沈をしてはヨットを起こし、ゴールを目指す過酷なレースでした。頭の中は「早く終われ、ヨットってこんなにきついのか、楽しくねーじゃん、騙された」の思いしかありませんでした。そんな中、海水が全身に何度もかかり、荒波にもまれるなかで口の中の水分が奪われていきました。そして、レース中に私は海水を何度も吐いていましたが、私が吐いた海水と唾がスッキパーをしていたキョースケさんの顔面に掛かり、後ろから悲鳴が聞こえたときは焦りました。あの時は本当にすみませんでした。

インカレが終わった後はヨットの本当のきつさを感じ辞めたくなることもありましたが、きつさと同時にヨットの奥深さと面白さも分かり、どんな波も風も乗り越えていきたいとの思いの方が強くなり４年間続けることができました。また、辞めずに４年間続けることができたのもご指導いただいた岡田さんを始め多くの先輩方の支えと同期の仲間の存在があったからです。辞めずに４年間続けて良かったと今なお思っています。

現在、私は地元の熊本に帰り特別支援学校の教員として仕事をしています。毎日阿蘇５岳を眺めながら出勤していますが、出勤時はキョースケさんから購入した日産ノートニスモＳの愛車で爽快に通勤しています。

私事ではありますが、令和６年４月に入籍をしました。いつかは妻を子乃川に連れていきたいと思いながら、時間だけが過ぎてしまっています。しかし、昨年の夏に日本のいろいろなところを妻と一緒に旅行をして回りました。その際に、島根県にも行くことができ、ヨット部で非常に面倒を見てくださった川瀬翔馬さん、彩夫婦（以下、ショーマさん、ドリ）に妻を紹介することができました。ドリは同期でヨットの乗り方や部の運営方針で何度もぶつかった仲です。ショーマさんは１学年上の先輩でヨットへの姿勢から生活面、人としてのご指導をしてもらいました。紹介した際に自分のことのように喜んでくれるショーマさんとドリがとても嬉しく、改めて寝食を共にした仲間の存在の有難さを感じました。

ヨット部に入部していたことで全国に同期や先輩、後輩がいます。同期のメンバーの益冨（通称：オカン）は福岡県、岡村（通称：えっちゃん）と谷渡（通称：むつみちゃん）は北海道におり、いつか同期がいる場所に全員が集まり、新しい家族を紹介しあう、そんな日を迎えることが新たな夢です。

熊本にいるとヨットと関わることがなかなかできません。妻とは山登りやロアッソ熊本のサッカー観戦をしながら週末を自由気ままに過ごしています。

最後に、諸先輩方が熊本に来られた際のコース引き（旅行プラン）はお任せください。一人一人にあった最適なコースを引いて見せます。多くの長崎大学ヨット部関係者が熊本に来て下さることを願っています。

愛媛県の石鎚山を登頂

ロアッソ熊本のユニホームを着て応援しています

「Native Dancer・マリンクリエイト琴風」の系譜

江上徹也　昭和 35 年入学、同 41 年卒業

今年度の本誌の主題が「Native Dancer（以下 ND)」や「マリンクリエイト琴風（以下 MC)」ということで古参の私に総説的にその歴史を紐解く役割が与えられました。私の古い記憶や『チーム ND 発足２０周年記念祝賀会』の資料をもとに年代に沿ってまとめてみました。

1981 年　初代 ND 誕生（ヤマハ 21）岩崎、阿南、村田グループが個人的に購入
1994 年　４月２代目 ND（X-99）アルファルドグループより購入
８月２３日(有)マリンクリエイト琴風設立（オーナー８名の出資）
1997 年　４月３代目 ND（バルチック３５の新艇）購入、Team ND の創設
1998 年　１０月４代目 ND 購入（エリオット II）
2006 年　４代目 ND　ハウステンボスカップ地元初のファーストホーム
2008 年　４代目 ND 長崎県外洋帆走協会年間ランク１位
2012 年　５代目 ND（FARR40）福岡の Zig-Zag グループより購入
８月早速ハウステンボスカップファーストホーム達成
2014 年　７月　鹿児島の火山カップレースに遠征
110 マイルロングレースで強剛ベンガル７を抑えてファーストホーム
2015 年　ハウステンボスカップファーストホーム（５回目)、総合優勝達成
2016 年　長崎県外洋帆走協会年間ランク１位（４年連続で５回目）
2024 年　オーナーの減少（逝去）と高齢化対策として(有)マリンクリエイト琴風の
財政規模のスリム化、3 代目 ND（バルチック３５）の売却、
FARR40 の１隻体制で Team ND のレース活動の継続を決定した。

１）琴風会 OB によるクルーザー活動の黎明期

同祝賀会に寄せられた矢野右人先輩の祝辞によると 196０年代後半当時は長大ヨット部卒業後に自艇を持ってヨットを続ける人は殆どない状況でした。例外的に勤務地が大村で自宅から５分でハーバがある矢野先輩が ST-21 を購入したり、同時期に時津の万行寺とゆかりの深い岩崎勝郎先輩（ヨット部顧問教官)、阿南貞夫先輩、村田富士雄先輩(いずれも故人)が共同で Y-21 を購入し、「ND」と命名した歴史があります。初代 ND は NBC カップなど大村湾をベースにするクルーザーの小規模な地方レースに参加して長大ヨット部 OB チームとしてそれなりの成績を収めていました。これらが琴風会会員のクルーザー活動の黎明期です。因みに「ND」の命名者は村田先輩でアメリカ競馬会の名馬に由来するそうです。

２）レーシングチームの結成と艇保有会社の設立

長崎県のクルーザーレース活動はハウステンボスマリーナが 1992 年に開業してから活性化され係留艇の数も、ハウステンンボスカップレースの参加艇も徐々に増加してゆきました。そのような状況の中で、長崎大学ヨット部は部員減少による活力低下で同好会化し体育会系部活として存亡の危機を迎えておりました。阿南先輩を中心に OB,OG がヨット活動を再開して現役に刺激を与え「青春時代の心の故郷を再興しよう」という機運が生まれました。幸い村田先輩は個人的立場でクルーザー活動を継続中で艇の管理やレース活動の責任者として最適でした。既に中年の域に達し運動不足で生活習慣病の兆しがあったり、ヘボゴルファーに堕落していた長崎近郊在住の阿南、江上、迫、牛島、波多野、福田、大間、藤原、

が阿南代表・村田キャップを中心としたクルーザーレースチーム『Team Native Dance（TeamND』の旗のもとに８名の共同オーナー（出資者）として参加しました。最初に購入した艇は 1994 年８月のアルファルドグループの X-36 で２代目 ND の誕生です。波多野君の税理士としての知識を活かし、会計法上の艇保有者として、またヨット活動を財政的に円滑にするため有限会社「マリンクリエイト琴風」が設立されました。創業者社長は阿南先輩で以後はヨット部における年功序列制で現社長が大間賢一君です。税務対策上オーナーの出資金だけでなく事業収入が必要ということで製薬会社の接待や、同級生の飲み会のためにヨットをレンタルしてもらう事業を行ないました。この場合オーナーは無給の操船クルーとして動員され、岡田利久君は阪神地区在住で乗艇の機会が無いにも拘らず趣旨に賛同し醵金してくれました。オーナーはヨット運営会社への出資目的として税務対策上、従業員の福利厚生もあげており家族同伴でクルージングを楽しむ機会を提供することもありました。

３）長大ヨット部と異なる遺伝子の導入

NIK-Tsubasa グループの吉原氏、松浦氏とその仲間は村田キャップの人脈で当初から僚船として支援して下さり、クルージング仲間、助っ人クルーとして無くてはならない存在となりました。

X－36 艇は軽快、繊細な艇で軽風は良い走りをしましたが、中風以上では不安定で乗り手にも敏感な反応を要求しました。レース中もビールが手放せない阿南社長の鶴の一声「レースしながら宴会もしたいのー」で強風下でも安定しているバルチック 35 の新艇を 1977 年購入し ND- ３代目となりました。この３代目は横浜港から鹿児島港へのフェリー運搬中トラック運転手が頭上のマストの長さを失念して壁に接触し船体は無事到着したものの交換用マストの到着まで大幅に進水式が遅れる不運に見舞われました。長崎到着を待ちきれず長大ヨット部創設者である菊谷名誉教授を団長とする訪問団を結成してマストのないバルチック 35 に面会しました（写真２）。Team-ND としては強風用、軽風用の２艇保有体制のもとクルザー特有の部品の多さの不慣れ、吃水の深さによる座礁などを経験しながら成長して行き、参加艇の数では日本有数のレースに成長したハウステンボスレースでも上位を狙えるようになって来ました。

このレースの優勝は殆ど博多勢で地元長崎としては悔しい思いを続けていたのですが 1998 年優勝も狙えるレース指向の中古艇エリオット１１を４代目として購入しました（２代目 X-36 は売却)。この４代目は船齢は経っていたのですが 2006 年のハウステンボスレースで長崎県の地元初快挙となるファーストホームを成し遂げ、この年は丁度チーム結成１０周年にあたり、祝賀会を開催しました。

Team ND の最盛期の到来で大きなレースにはエリオットとバルチックの２艇が参加する程にチームと

しての活気がありました。

この辺りから長崎県のクルザーレースを管轄する長崎県外洋帆走協会の年間ランキングの 1 位の常連になってきました。クルーザーには艇毎にゴルフのようにハンディキャップが設定されますので到着順位と一致しないことも多いのですが Team ND はファーストホームの栄誉と快感を目指しています。そのためにはある程度のサイズがありレース指向で設計された艇であることが必要です。4 代目エリオット 11 の経年劣化や、より大型でレース指向の艇として 2012 年、FARR40 の中古艇を 5 代目として購入しました。前身は博多湾で名を馳せた「Zig Zag （ジグザグ)」です。その年のハウステンボスレースで早速ファーストホームを獲得しました。同艇の活躍は艇長の福田豊君が鹿児島の火山カップ遠征記など 2024 年版本誌に投稿してますのでご参照下さい。

ヨットの共同オーナーシステムは周囲にもいくつかの例を見かけますが必ずしも長続きしていません。発足当初は「阿南の殿！」のカリスマの威力で、阿南先輩亡き後もモーターボート派である福田俊郎先生（福田豊オーナーの兄上）が「金は出すけど口は出さない」オーナーとして参加して頂き、８人共同オーナー体制が継続されました。「有限会社：マリンクリエイト琴風」の社長人事など経営に関する案件も長大ヨット部の入学年度による先輩後輩の序列で解決してきました。レーシングクルザーにはディンギーの数倍の部品があり艇の整備に関する知識が必要です。福田艇長の勝利への情熱でチームに長大だけでなくクルーには長崎大学以外の福岡大、鹿屋体育大、総科大、鶴洋(旧水産)高校、工業高校ヨット部などの異なる遺伝子を注入して多様性の強みを獲得しました。

４）Team-ND・マリンクリエイト琴風の近況

時は流れオーナー（出資者）中の阿南先輩、牛島君 がこの世を去りました、残ったメンバーも高齢化による体力低下を避けられず今年度をもって２８年続いた会社組織としてのマリンクリエイト琴風を縮小することになりました。保有していた２艇のうちクルージング向けのバルチック 35 はチームのメンバーであった松浦氏の個人所有となり大村ハーバーを母港にクルージングを主に活動しております。FARR―40 は残ったオーナー６名が共同で所有する形態で残り Team ND としてレース活動を続けます。「レーサーの塩気」が残っている福田艇長を中心に県内のレースでファーストホームの快感を味わえる間は今後もセーリングチームとして活躍が期待されます。長大ヨット部のディンギーレースで育った若者がクルーザーレースを始める場になって長崎県のセーリングレベルの向上に貢献できれば幸いです。長大ヨット部 OB,OG 諸君の TeamND への参加を歓迎します。

５）マリンクリエイト琴風オーナーから現役部員諸君へ

末筆ながら（有）マリンクリエイト琴風の歴史の区切りとして生き残ったオーナー６名の総意で出資金の一部を長大ヨット部に寄付することになりました。経理の都合上「長崎大学西遊基金」を通して[OB から現役運動部への寄付]の形式となりますので有意義にお使い下さい。わたしの卒後６０年を筆頭にオーナーは皆卒後５０年以上の高齢者ですが長大ヨット部に在籍したおかげで現役の時はオーバーラップしていない年代の OB・OG とも同郷人のような懐かしさを感じ、心の財産としてヨット部に感謝しております。レースだけでなく友情を育てる場としても現役諸君の益々のご活躍を期待しております。

マリンクリエイトと仲間たち

昭和３９年入部　迫　龍二

作文に先立ち、MC を設立・導いていただいた今は亡き 3 名の先輩そして友人であった阿南貞夫先生、村田不二雄さん、牛島信雄君のご冥福をお祈りいたします・

かってはディンギーと共に過ごし、今は寂しいヨットマンがなんとか再びヨットにのることはできないものかと立ち上げたのがマリンクリエイト（MC）でした。MC は 1994 年（H06）8 月 16 日長崎市近傍在住 8 名で設立。当初は S 氏より譲り受けたスナイプに毛が生えたような X-99 を購入し、時には県内で行われるクルーザーの大会に出場し楽しんでいました。このＸ艇はボディの割にはセール面積が広く、中年を迎えた私どもには不安定な要素でした。そこで安定し、外海でも安心して帆走できレースも楽しめるヨットとしてフィンランド・バルチックヨットを購入することとなりました。

1996 年 11 月鹿児島・錦江湾にバルティック上陸。早々マイクロバスで出かけ初見となりました。長崎への運搬中マストの一部を破損する事故はありましたが、無事 1997 年 7 月進水式を終え、以降ハウステンボスを本拠地とし活躍することとなりました。バルティックは村田さんが名付け親となり“Native Dancer”と命名しました。

当時、ハウステンボスヨットレースは全国的な人気があり、200 艇近いヨットがあつまったこともありました。石原慎太郎の愛艇“コンテッサ”があっという間に優勝をさらいまいましたが、同時に近づきがたい威容には圧倒されました。

休日を利用して五島や天草などへクルージングしたり、ヨット部へは琴風会を通してレース艇を贈ったり、現役部員へクルーザー体験をしてもらうなどの交流をしてきました。

長崎大ヨット部に競技用2隻を寄贈

OB会、時津で式

長崎大ヨット部OBでつくる「琴風会」（○○辰博会長）は2日、同部に競技用ヨット2隻を贈り、西彼時津町子々川郷の同大臨海研修所で寄贈式を開いた。

学生の社会性を育む部活動の支援と、2014年長崎がんばらんば国体での活躍を願い初めて贈った。

「琴風会」から贈られたヨット＝時津町、長崎大臨海研修所

式にはOBや部員ら約30人が出席。○会長は「さらに技術を磨き強くなることを確信し、支援を続けたい」とあいさつ。主将の森一郎さん(22)は「試合で良い成績を残し報告できるよう練習を頑張りたい」とお礼を述べた。

（戸羽信介）

MC 創設 30 年が過ぎようとしております。さすがにバルティックの維持・管理が困難となっており、今年いっぱいで手放すこととなりました。10 月 13 日軍艦島を回る最後のクルージングを楽しみました。

チーム Native Dancer とドクトル阿南

昭和 44 年入部　藤原　久郎

チーム NativeDancer は故阿南先輩の発案で設立されたものである。

阿南先輩は青春時代を京都の海軍軍都舞鶴で過ごしている。海軍軍医であったお父上が軍港・舞鶴に土着して開業していたからである。長崎大学医学部に入学して、すぐにヨット部に入部された。下宿先は長崎市郊外の、時津港を見下ろす場所にある大谷派浄土宗萬行寺であった。東には奇岩タンタン岩を持つ丸田岳、西には岩屋山・鳴鼓岳・長浦岳へ続く西彼半島が望める。眼下に、かの 26 聖人が東杵から海上を移送され到着した時津港がある。そこから学校サボってヨットに励み、たまにチンタラカンタラと大学に出かけたのだろう。この地で大村湾琴海を眺め、故郷の舞鶴や琵琶湖を想っていたに違いない。

卒後皮膚科に入局され、講師時代にフランス留学を果たされている。先生は皮膚科では免疫学の権威であった。特に免疫細胞を特異的に染色する免疫組織染色（ELISA 法）を学ばれて帰国し、学会の第一線をリード、長崎に阿南ありと言わしめたのであった。

皮膚科医局は酒豪集団の医局で、私は銘酒「靴酒」を飲まされ、下痢でダウンしたことがあった。

昭和 40 年代、長大 OB である大先輩浜口さん（水産学部卒・長崎ヨットクラブ）が個人で買われた外国製スナイプ級チャバスコに対抗できる艇を私たち学生は持たなかった。私たちの艇は古くて重たかった。チャバスコはメタルマストを持ち圧倒的な切り上がり性能を持っていた。このため長崎県国体予選では長崎ヨットクラブに苦杯を飲まされていた。私はチャバスコに対抗できる艇をどうしても欲しかったのである。福田さん、私、勝本で阿南先生にお金を借りに行ったことがバラモン艇購入の始まりだった。丁度その頃、阿南先生はフランス留学が決まっていた。その時のお金は阿南先生の奥様が留学にのためにと貯金されていたものだったそうである。阿南先生が「家にお金があるね」と奥様に聞かれた時に、奥様が「あるわよ」と返事されたため、その金がそっくり私たち学生に貸し出されたのであった。

やがて留学を終えて、阿南先生は帰ってきた。早速　私がバラモン艇購入の御礼と返金に行った時、即座に「その金は後輩のために使わんね」の一言には仰天した。最近、奥様にお聞きした所、この断は即断即決だったようで、奥様には一言も相談なかったらしい。

私にはとてもそんな阿南流の境地には遠く及ばないのである。

それから月日が流れ、平成 6 年、開業された阿南先生が長大 OB 有志によるマリンクリエイトを立ち上げ、夢の企画が始まった。番頭役は皮膚科後輩の牛島さん、会計は波多野さん、艇長は村田さんであった。平成 9 年には、バルチック社製の大型クルーザーを購入し 8 名オーナー制マリンクリエイト・チーム Native Danser が誕生した。ハウステンボスのマリーナをホームにして活動が始まったのである。阿南先生の頭に描いていた

のは、バカンス文化のあるフランス生活が頭にあったのであろう。レースしか知らない私たちにヨットライフという楽しみ方を教えてくれたのであった。

阿南先生は外国のお客さんが来ると、テンボスで歓待している。しかし顔は真っ黒で、どう見ても本職の漁師さんに黒さでは勝っていた。アー、ウー、ソーネと眼を細めながらグラスを傾けるのが阿南流で、僕らは親しみを込めてアナンちゃん、トノと呼んでいた。よく旬のエビやフグを求めて外海クルージングを楽しんだものだ。夜はヨット仲間と宴会をするのを好まれ、矢津田さんのドボン事件、大間さんの神主など様々な逸話・珍芸も生まれた。

当時からクルーザーを持つことは一人オーナーという時間とお金持を持った富豪層のステータスであったが、私たちでも参加できるワリカンオーナー方式を編み出したのである。

クルーザーレースやクルージングを通して、比較的若い社会人でもマリーンライフを一緒に楽しむことができた。長大 OB だけでなく、垣根のないヨットマンの輪が広がったのである。

時は流れ、曲がりなりにも九州地区でヨット部が活動しているのは私立福大は別として九大と長崎大学のみと聞く。近年、多くの大学は金のかかる運動クラブにお金を出せなくなり、活動に大金がかかるヨット部は絶

滅危惧種なっている。今日の、長崎大学ヨット部も絶滅危惧種に指定されているのだが、なんとか継続されてるのは、多くの先輩たちの想いがあったからである。阿南先生の想いはバラモン基金から阿南・矢津田基金として貝原・肥田会長に受け継がれている。

調べてみると阿南の性は九州では神仏集合の地、大分豊前に多い名前だそうである。
阿難（アナンダ）は仏陀の弟子であった。阿南は仏様と関係するのかもしれない。冗談だが、それで米国ではなく仏国（フランス）に行かれたのかも。
先生は慈悲の心を持つ、仏の阿南だったのである。ぼろは着てても心は錦。ドクトルアナンはお金、体裁には全く無頓着で、酒と仲間と海をこよなく愛して楽しんだ文化人であった。しかも阿南先輩は新しいヨット文化を先駆けとして長崎に根付かせてくれたのだ。
少し早死されてしまったが、あれだけ酒を愛し、酔っぱらい人生だったけど素晴らしい人生であったと私は思っている。好きなことをとことんするのが阿南流。私たちは海で出会い、海で別れるのである。

令和 6 年 10 月末をもって、バルチック艇はヨット仲間の松浦氏に譲り、マリーンクリエイトチーム NativeDancer はひとまず、オーナー全員が後期高齢者になったので、幕を閉じ、新しいマリンクリエイトにバトンタッチをすることとなった。これからは Far40 をメインにして新しい会がスタートする。潮っ気ある若いヨットマンが育ってくれることを祈念している。

私とチーム Native Dancer

内村　勝美

私と長大ヨット部との関わりは昭和 45 年岩手国体長崎県代表として長大の子々川夏合宿に参加したことに始まります。その時の主将は牛島さんでした。その頃の私は長崎工業高校 3 年でスキッパーをしており、県内には敵無しでした。艇は前年にあった長崎国体からの払い下げの艇でデッキが黄色、ハルが赤色でボディは強風下では曲がりやすく安物作りでした。私は強風が得意で、レーススタイルはクルーと一緒に海面スレスレまで体を外に出し徹底的にヒールを殺していました。牛島さんから「頭ば使わん走りだ」と冷やかされた事があります。その時の合宿中に 2 年生の佐藤・藤沢さん達が当時流行っていた催眠術遊びをやっていて、誰一人催眠にかからなかったのに私だけが本当にかかってしまって、かけた連中は元に戻す方法を知らなくて、慌てたという思い出があります。

あの頃、セミ OB の矢津田さんは国体を目指してフィンに乗っておられ、私のスナイプに負けると、今はセールの調整中と負け惜しみを言ってました。

阿南生生がチーム Native Danser を創設した時には、最初からクルーにお声がかかりました。メンバーの大間さんと藤原さんが一番下だったので、私が乗っている時は、私が唯一下っ端なので、二人は安心して乗っていたようです。マストの上に登るのも、ペラに藻が絡まった時も私が最初に潜りました。スピン展開も勿論、私がメインでやりました。

Native のメンバーには私が次々に仕事を変遷したために、その都度、心配をかけ大変お世話になりました。自分の社会勉強にもなりました。藤原さんのクリニックの画像供覧システムを某病院に使って市販の 10 分の 1 だったために大変喜ばれたこともありました。諫早の牛島さん、鹿島の大間さんは飲み会の時には必ず私を指定してタクシーを使ってくれたし、他の皆さんよく指定をしてもらい可愛がってもらいました。お陰で売上 No1 になったこともあるのです。

チームはテンボスを拠点にしており、あの頃が一番楽しかったですね。クラブハウスでの宴会は超楽しかったし、あの馬鹿騒ぎパーティで多くのヨットマンと知り合い、仲間と集う楽しさを味合わせてもらいました。阿南先生の奥様から私に月曜日に「まだ、阿南帰ってこないんだけど」と電話かかってきてましたよ。よく五島・平戸方面にクルージングにも行きました。最後は病魔で苦しんだ私でしたが、福田さんのところで雇ってもらいました。Native の良いところは、皆さんが海を愛し、仲間を大事にする所だったので、居心地が良かったのです。風通しが良く、長大 OB でもない私でも思ったことをずけずけ言えました。楽しかったですね。最後まで皆さんにお世話になりました。

この原稿を編集しているさなかに、藤原先輩より令和７年５月５日に内村様がお亡くなりになったとのご連絡をいただきました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

バルチック BLT との別れ

マリーンクリエイト琴風第四代目社長　　大間賢一（琴風会員 No110）

３０数年前、阿南先輩（琴風会員 47）の元に集まったメンバー８名（別名ワルハチ）から始まった我々ネイティブダンサーも「BLT」とのケジメの日を迎えました。

というのもメンバーの高齢化が原因です。我々の有するクルーザー２艇のうち「BLT」が海の仲間松浦君（松ちゃん）のお世話になることになりました。チョット淋しいけど「BLT」にはおめでたい世代交代なのです。色んなレース色んな所へのクルージング、楽しかった思い出が残るクルーザーでした。我々が持ち続けているワルハチ精神は今後若い人たちが受け継いでくれるでしょう。

不滅です
ありがとう「BLT」　バルチック「BLT」
また長崎の海で会おう

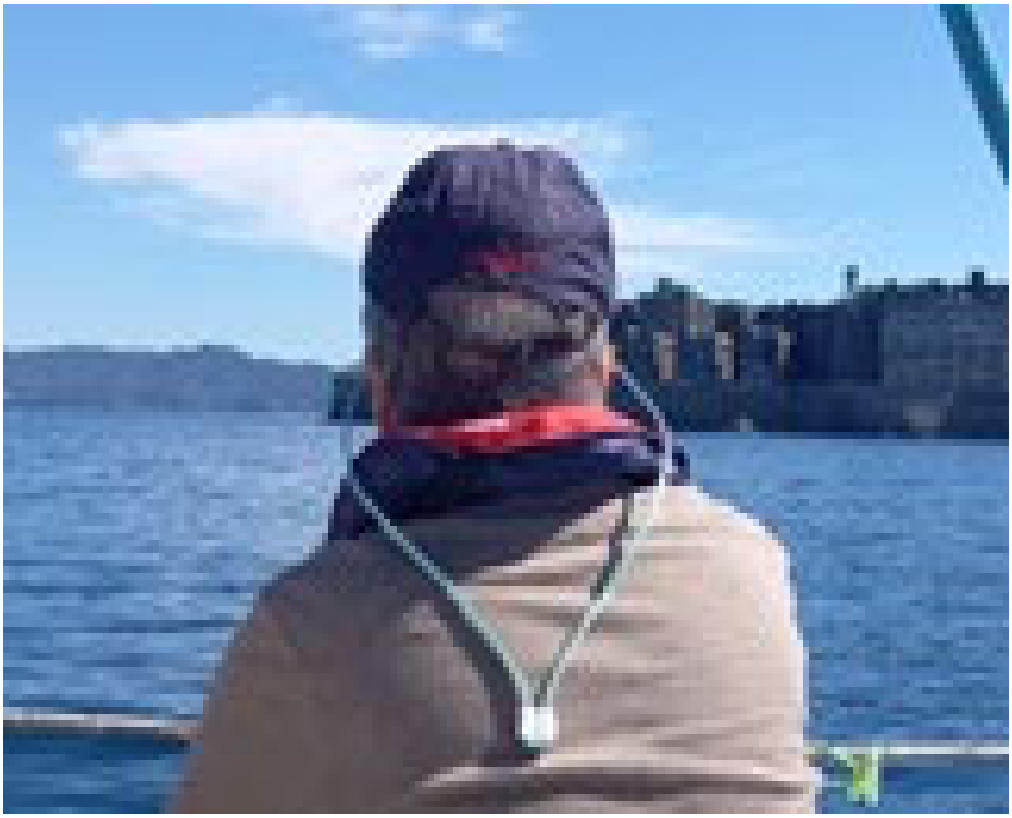
1994（H06）8.23　マリンクリエイト（MC）設立
1994（H06）　X-99　初代（里見先生より購入）
1996（H08）.10.02　MC 第 1 回総会
1996.11.02　バルチック（ND）初対面のため鹿児島へ ND 登録：H09.04
1997（H09.07.01　バルチック浸水式

ワルハチオーナー

江上徹也（No64）	迫　龍二(N084)	波多野徹(No100)
大間賢一(No110)	福田　豊(No116)	藤原久郎(No125)

故 阿南貞雄(No47)　　故 牛島信雄(No96)
初代艇長　　故 村田富士夫(No51)

Native Dancer
Native
Dancer



祝！！第 10 回関東支部会

【お礼】昨日、第 10 回関東支部会を六本木にて開催しました。長崎からお越しいただいた盈さん、八幡さん、肥田さん、千波さんありがとうございました。また、名古屋から柴田さん、若手初参加の中島さん、ありがとうございました。ハプニングはあったものの、カプリ島を力一杯歌うことができました。多くの方にご参加いただき、感謝申し上げます。 これを機に、支部長を北村徹さんに引き継ぐことにしました。これからも、関東支部を盛り上げていきましょう。取り急ぎ、お礼まで。

琴風会関東支部会長　江口　和哉

この度、琴風会関東支部長を拝命しました、89 年度水産卒の北村です。諸先輩方の熱い思いを胸に、琴風会本体とも連携しながら、関東支部を盛り上げていきますので、引き続き御支援、御協力をお願い致します。

琴風会関東支部新会長　北村　徹

2024年 九州学生ヨット選手権大会（新人戦）

2024年3月30日（土）～3月31日（日）

長崎県長崎市 長崎サンセットマリーナ

最終成績

国際 ４７０ 級

艇順位	Ent#	Sail#	Hull#		Belongs	艇　長	クルー	1R			2R			3R			4R			5R			6R			艇		艇	団体	団体
								着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	合計	得点	順位	得点	順位
7	1	4717	4717			伊藤 舞梨	伊井 宥景	9	9	9	6	6	6	5	5	5	7	7	7	10	10	10	7	7	7	44	44	7		
12	2	4597	4597		九州大学	城 毅	恩田 旭	10	10	10	16	16	16	13	13	13	9	9	9	8	8	8	9	9	9	65	65	12	211.0	1
15	3	4556	4556			前田 将太郎	森 悠生	15	15	15	15	15	15	16	16	16	18	18	18	16	16	16	22	22	22	102	102	15		
21	7	4453	4453			小倉 直人	中西 洸	DNF	DNF	25	14	14	14	12	12	12	21	21	21	23	23	23	16	16	16	111	111	21		
20	8	4454	4454		長崎大学	梶原 快	崎山 耕喜	21	21	21	22	22	22	23	23	23	20	20	20	14	14	14	11	11	11	111	111	20	345.0	2
22	9	4582	4582			福浦 修太	岡崎 明倫	20	20	20	20	20	20	20	20	20	23	23	23	19	19	19	21	21	21	123	123	22		
16	4	4480	4480			武田 宙大	大平 彩佳	17	17	17	18	18	18	18	18	18	14	14	14	17	17	17	20	20	20	104	104	16		
24	5	4308	4308		西南学院大学	早川 芽唯	阿川 陽香	22	22	22	RET	RET	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	23	23	23	142	142	24	377.0	3
23	6	4287	4287			栄田 直輝	井本 明大	19	19	19	23	23	23	21	21	21	22	22	22	22	22	22	24	24	24	131	131	23		
4	10	4712	4712		福岡大学	池田 龍平	足立 健太郎	2	PRP	10	2	2	2	3	3	3	4	4	4	9	9	9	2	2	2	30	30	4		
11	11	4683	4683	open	福岡大学	藤田 奏音	渡邉 結来	7	7	7	8	8	8	7	7	7	15	15	15	12	12	12	15	15	15	64	64	11		
9	12	4542	4542		福岡大学	幸野 翔太	竹原 陽太	11	11	11	10	10	10	15	15	15	3	3	3	4	4	4	13	13	13	56	56	9		
13	13	4467	4467		鹿屋体育大学	北 修紋	中鉢 賢匠	RET	RET	25	9	9	9	10	10	10	11	11	11	3	3	3	10	10	10	68	68	13		
14	14	4407	4407		鹿屋体育大学	深江 夏鈴	牧口 千貴	12	12	12	13	13	13	14	14	14	13	13	13	15	15	15	8	8	8	75	75	14		
19	15	4468	4468		九州大学	泉 幸来	永田 蒼馬	16	16	16	17	17	17	22	22	22	16	16	16	18	18	18	19	19	19	108	108	19		
18	16	4307	4307		九州大学	山上 朝己	金子 朔也	18	18	18	19	19	19	19	19	19	17	17	17	21	21	21	14	14	14	108	108	18		
1	17	4816	4816		日本経済大学	濵田 登羽	関 蒼太	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	6	6	1	1	1	12	12	12	22	22	1		
6	18	4813	4813		日本経済大学	糸瀬 瑛喜一	井上 幸	4	4	4	5	5	5	11	11	11	10	10	10	6	6	6	5	5	5	41	41	6		
8	19	4800	4800	open	日本経済大学	中村 奏絵	中村 豪太	5	5	5	3	3	3	4	4	4	12	12	12	7	7	7	18	18	18	49	49	8		
3	20	4759	4759	open	日本経済大学	中村 乃々子	花田 佳	3	3	3	11	11	11	8	8	8	1	1	1	2	2	2	1	1	1	26	26	3		
2	21	4758	4758	open	日本経済大学	高橋 海音	長谷部 堅大	6	6	6	4	4	4	2	2	2	2	2	2	5	5	5	6	6	6	25	25	2		
5	22	4634	4634	open	日本経済大学	橋本 和佳	三輪 晃汰	8	8	8	7	7	7	6	6	6	5	5	5	11	11	11	3	3	3	40	40	5		
10	23	4585	4585	open	日本経済大学	有村 はるな	姫野 咲笑	13	13	13	12	12	12	9	9	9	8	8	8	13	13	13	4	4	4	59	59	10		
17	24	4541	4541	open	日本経済大学	森内 和希	坂元 一姫	14	14	14	21	21	21	17	17	17	19	19	19	20	20	20	17	17	17	108	108	17		

レース オフィサー
西村　隆
プロテスト委員長
古賀　誠次
テクニカル委員会
古賀　理
記録部長
岩瀬　広志

	1R	2R	3R	4R	5R	6R
Date	30-Mar-24	30-Mar-24	30-Mar-24	31-Mar-24	31-Mar-24	31-Mar-24
Weather	薄曇り	薄曇り	晴れ	曇り	曇り	曇り
Wind direction	190°	210°	210°	175°	190°	170°
Wind speed(kt)	8-12kt	8kt	7kt	5kt	4-8kt	6-10kt
Start time	12:05:00	13:15:00	14:25:00	10:37:00	11:45:00	12:50:00
First finish time	12:42:55	13:54:34	15:03:41	11:13:29	12:24:38	13:40:31
End time	12:57:55	14:00:55	15:10:59	11:20:38	12:30:40	13:52:42
Entry(boats)	24	24	24	24	24	24
Sailed(boats)	24	24	24	24	24	24

2024/3/31 14:49

2024年度九州学生ヨット選手権大会（個人戦）
兼 2024年度九州470級ヨット選手権大会

2024年7月6日（土）～7日（日）

福岡市西区 福岡市ヨットハーバー

最終成績

国際 4 7 0 級

							1R			2R			3R			4R			5R			6R			総得点			総合
順位	艇番#	Sail #	所属	艇長	クルー	種別	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	着順	確定	得点	合計	除外	得点	順位
1	30	4659	サニーサイドヨットクラブ/ヤマハ発動機	中山 由菜	疋田 大晟		UFD	UFD	31	1	1	1	15	15	15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	50	31	19.0	1
2	11	4814	九州大学	城 毅	永田 蒼馬	学生	3	3	3	7	7	7	10	10	10	5	5	5	4	4	4	5	5	5	34	10	24.0	2
3	15	4467	鹿屋体育大学ヨット部	北 修哉	中鉢 智匠	学生	2	2	2	14	14	14	5	5	5	3	3	3	7	5	5	10	10	10	39	14	25.0	3
4	1	4816	日本経済大学	濱田 登羽	関 蒼太	学生	1	1	1	2	2	2	14	14	14	RET	RET	31	9	7	7	3	3	3	58	31	27.0	4
5	28	3849	宮崎県セーリング連盟	宮本 健吾	今津 雄登		UFD	UFD	31	5	5	5	9	9	9	4	4	4	12	10	10	4	4	4	63	31	32.0	5
6	7	4712	福岡大学	藤田 貴音	春山 鮮輝	学生	11	11	11	3	3	3	2	2	2	6	6	6	13	11	11	12	12	12	45	12	33.0	6
7	27	4683	沖縄県セーリング連盟 / 福岡大学	前田 弘樹	渡慶 結実		6	6	6	9	9	9	4	4	4	18	18	18	16	14	14	6	6	6	57	18	39.0	7
8	5	4758	日本経済大学	中村 貴絵	井上 幸	学生	8	8	8	8	8	8	17	17	17	RET	RET	31	8	6	6	2	2	2	72	31	41.0	8
9	9	4750	福岡大学	幸野 翔太	竹原 陽太	学生	4	4	4	10	10	10	7	7	7	8	8	8	14	12	12	13	13	13	54	13	41.0	9
10	3	4800	日本経済大学	高橋 寿音	長谷部 聖大	学生	10	10	10	13	13	13	1	1	1	7	7	7	15	13	13	11	11	11	55	13	42.0	10
11	29	4585	株式会社電力社 / 石川県セーリング連盟	永瀬 雅久翔	永田 魁		7	7	7	11	11	11	6	6	6	16	16	16	11	9	9	9	9	9	58	16	42.0	11
12	8	4808	福岡大学	池田 蘭平	足立 健太郎	学生	9	9	9	4	4	4	3	3	3	13	13	13	23	21	21	14	14	14	64	21	43.0	12
13	2	4813	日本経済大学	中村 乃々子	三輪 晃汰	学生	5	5	5	15	15	15	11	11	11	9	9	9	10	8	8	18	18	18	66	18	48.0	13
14	25	4480	西南学院大学/日経大	武田 宙大	安藤 司		17	17	17	6	6	6	21	21	21	17	17	17	3	3	3	8	8	8	72	21	51.0	14
15	10	4832	九州大学	伊藤 舞梨	伊井 有里	学生	12	12	12	24	24	24	8	8	8	10	10	10	5	DSQ	31	7	7	7	92	31	61.0	15
16	6	4634	日本経済大学	森内 和希	花田 佳	学生	14	14	14	17	17	17	13	13	13	15	15	15	18	16	16	19	19	19	94	19	75.0	16
17	16	4407	鹿屋体育大学ヨット部	深江 夏鈴	牧口 千貴	学生	15	15	15	18	18	18	19	PRP	28	14	14	14	17	15	15	16	16	16	106	28	78.0	17
18	4	4759	日本経済大学	有村 はるな	姫野 咲笑	学生	16	16	16	12	12	12	18	18	18	21	21	21	20	18	18	15	15	15	100	21	79.0	18
19	17	4337	鹿屋体育大学ヨット部	秦 洪作	山口 琴華	学生	18	18	18	20	20	20	16	16	16	12	12	12	21	19	19	BFD	BFD	31	116	31	85.0	19
20	13	4597	九州大学	山上 innovative翔己	金子 朔也	学生	19	19	19	22	22	22	22	22	22	11	11	11	19	17	17	20	20	20	111	22	89.0	20
21	12	4717	九州大学	前田 将太郎	恵田 旭	学生	13	13	13	16	16	16	12	12	12	20	20	20	6	DNE	31	17	17	17	109	20	89.0	21
22	26	4592	才全会	五嶋 杏莉	木原 寛大		DNC	DNC	31	DNC	DNC	31	DNC	DNC	31	2	2	2	2	2	2	BFD	BFD	31	128	31	97.0	22
23	22	4453	長崎大学	小倉 直人	中西 洸	学生	20	20	20	21	21	21	23	23	23	19	19	19	22	20	20	21	21	21	124	23	101.0	23
24	14	4468	九州大学	泉 幸栄	森 悠生	学生	21	21	21	19	19	19	20	20	20	23	23	23	24	22	22	22	22	22	127	23	104.0	24
25	18	4308	西南学院大学	早川 芽衣	大中 彩佳	学生	23	23	23	26	26	26	25	25	25	24	24	24	25	23	23	DNF	DNF	31	152	31	121.0	25
26	23	4454	長崎大学	梶原 快	萬田 凰聖	学生	22	22	22	23	23	23	UFD	UFD	31	22	22	22	DNC	DNC	31	DNC	STP	31	160	31	129.0	26
27	19	4287	西南学院大学	宮崎 遼人	井本 明大	学生	24	24	24	25	25	25	24	24	24	DNC	DNC	31	DNC	DNC	31	DNC	DNC	31	166	31	135.0	27
28	20	4172	西南学院大学	织田 直輝	岩田 篤志	学生	DNC	DNC	31	DNC	DNC	31	DNC	DNC	31	DNC	DNC	31	DNC	DNC	31	DNC	DNC	31	186	31	155.0	28
28	21	3813	西南学院大学	若生 さやか	岡川 陽香	学生	RET	RET	31	DNC	DNC	31	DNC	DNC	31	DNC	DNC	31	DNC	DNC	31	DNC	DNC	31	186	31	155.0	28
28	24	4582	長崎大学	細浦 修太	島崎 壮大郎	学生	RET	RET	31	DNC	DNC	31	DNC	DNC	31	RET	RET	31	DNC	DNC	31	DNC	DNC	31	186	31	155.0	28

レース オフィサー	
岡村 勝美	
プロテスト委員長	
岡部 幸司	
テクニカル委員長	
0	
記録部長	
岩瀬 広志	

レース日	6-Jul-24	6-Jul-24	6-Jul-24	7-Jul-24	7-Jul-24	7-Jul-24
天候	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ
風向	250°	260°	240°	245°	250°	245°
風速 (kt)	11kt	15kt	10kt	13kt	16kt	15kt
スタート時刻	13:05:00	14:05:00	16:11:00	10:41:00	11:50:00	12:55:00
最初の艇フィニッシュ時刻	13:38:27	14:42:16	16:52:21	11:13:54	12:23:50	13:38:04
レース終了時刻	13:53:27	14:55:34	17:00:38	11:28:38	12:37:30	13:53:04
参加艇数	30 艇	30 艇	30 艇	30 艇	30 艇	30 艇
出走艇数	28 艇	26 艇	26 艇	27 艇	25 艇	25 艇

2024/7/7 17:51

2024年度 西日本ヨットウィーク

令和6年5月3日(金)～5日(日)

福岡市ヨットハーバー

最終成績

国際 ４７０ 級

順位	識別#	Sail#	Belongs	Skipper	Crew	Crew	1R 着順	1R 確定	1R 得点	2R 着順	2R 確定	2R 得点	3R 着順	3R 確定	3R 得点	4R 着順	4R 確定	4R 得点	5R 着順	5R 確定	5R 得点	総得点 合計	総得点 除外	総得点 得点	総合順位
1	10	4816	日本経済大学 A	濵田 登羽	関 蒼太		3	3	3	2	2	2	3	3	3	4	4	4	4	4	4	16	4	12.0	1
2	26	4659	湘南サニーサイドマリーナヨットクラブ	中山 由菜	池田 隼太		1	1	1	4	4	4	7	7	7	3	3	3	9	9	9	24	9	15.0	2
3	6	4542	福岡大学	幸野 翔太	竹原 陽太		8	8	8	8	8	8	1	1	1	6	6	6	2	2	2	25	8	17.0	3
4	28	3849	宮崎県セーリング連盟	宮本 健吾	今津 雄登		2	2	2	10	10	10	4	4	4	16	16	16	5	5	5	37	16	21.0	4
5	5	4683	福岡大学	藤田 奏音	渡邉 結来	春山 祥輝	9	9	9	1	1	1	6	6	6	7	7	7	17	17	17	40	17	23.0	5
6	11	4813	日本経済大学 A	中村 乃々子	花田 佳		16	16	16	11	11	11	11	11	11	1	1	1	1	1	1	40	16	24.0	6
7	27	4592	医療法人才全会	五嶋 杏莉	木原 寛太		4	4	4	17	17	17	9	9	9	11	11	11	3	3	3	44	17	27.0	7
8	13	4759	日本経済大学 B	有村 はるな	姫野 咲笑		11	11	11	7	7	7	5	5	5	5	5	5	19	19	19	47	19	28.0	8
9	12	4800	日本経済大学 A	高橋 海音	長谷部 堅大		5	5	5	6	6	6	10	10	10	8	8	8	12	12	12	41	12	29.0	9
10	4	4712	福岡大学	池田 龍平	足立 健太郎		6	6	6	9	9	9	8	8	8	15	15	15	7	7	7	45	15	30.0	10
11	14	4758	日本経済大学 B	中村 奏絵	三輪 晃汰		10	10	10	12	12	12	16	16	16	2	2	2	11	11	11	51	16	35.0	11
12	1	4832	九州大学	伊藤 舞梨	伊井 宥景		7	7	7	5	5	5	19	19	19	9	9	9	14	14	14	54	19	35.0	12
13	2	4814	九州大学	城 毅	永田 蒼馬		13	13	13	3	3	3	15	15	15	10	10	10	10	10	10	51	15	36.0	13
14	16	4467	鹿屋体育大学	北 修紋	中鉢 賢匠		14	14	14	18	18	18	2	2	2	17	17	17	6	6	6	57	18	39.0	14
15	15	4634	日本経済大学 B	森内 和希	小田切 詞音		12	12	12	14	14	14	20	20	20	13	13	13	16	16	16	75	20	55.0	15
16	25	4585	日本経済大学	糸瀬 雅玖翔	北方 雄悟	坂元 一姫	17	17	17	16	16	16	13	13	13	14	14	14	13	13	13	73	17	56.0	16
17	7	4480	西南学院大学	武田 宙大	阿川 陽香		19	19	19	13	13	13	18	18	18	20	20	20	8	8	8	78	20	58.0	17
18	3	4717	九州大学	前田 将太郎	恩田 旭		15	15	15	15	15	15	14	14	14	19	19	19	15	15	15	78	19	59.0	18
19	17	4407	鹿屋体育大学	深江 夏鈴	牧口 千貴		18	18	18	19	19	19	17	17	17	12	12	12	22	22	22	88	22	66.0	19
20	22	4597	九州大学	山上 朝己	金子 朔也		22	22	22	22	22	22	21	21	21	21	21	21	18	18	18	104	22	82.0	20
21	18	4337	鹿屋体育大学	秦 洪作	山口 栞華		UFD	UFD	29	24	DNE	29	12	12	12	18	18	18	25	25	25	113	29	84.0	21
22	19	4453	長崎大学	小倉 直人	中西 洸	福浦 修太	20	20	20	20	20	20	24	24	24	22	22	22	26	26	26	112	26	86.0	22
23	23	4468	九州大学	泉 幸来	森 悠生		UFD	UFD	29	23	23	23	22	22	22	24	24	24	20	20	20	118	29	89.0	23
24	20	4454	長崎大学	梶原 快	繁田 凰聖		21	21	21	21	21	21	26	26	26	25	25	25	23	23	23	116	26	90.0	24
25	8	4308	西南学院大学	釜山 大輝	大平 彩佳		24	24	24	26	25	25	25	25	25	23	23	23	21	21	21	118	25	93.0	25
26	21	4582	長崎大学	加藤 大智	崎山 耕喜		23	23	23	25	24	24	23	23	23	26	26	26	24	24	24	120	26	94.0	26
27	24	3813	西南学院大学	栄田 直輝	井本 明大	宮﨑 遼人	25	25	25	27	26	26	28	28	28	27	27	27	RET	RET	29	135	29	106.0	27
28	9	4287	西南学院大学	早川 芽唯	岩田 篤志		DNS	DNS	29	DNF	DNF	29	27	27	27	28	28	28	27	27	27	140	29	111.0	28

レース オフィサー	
代理 勝田　哲英	
プロテスト委員長	
岡部　幸司	
テクニカル委員長	
0	
記録部長	
岩瀬　広志	

	1R	2R	3R	4R	5R
レース日	3-May-24	3-May-24	24-May-04	24-May-04	5-May-24
天　候	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り
風　向	350°	340°	340°	350°	180°
風　速 (kt)	7kt	7kt	8kt	7kt	9kt
スタート時刻	13:00:00	14:25:00	12:35:00	14:00:00	10:35:00
最初の艇ﾌｨﾆｯｼｭ時刻	13:42:53	15:07:17	13:16:39	14:44:02	11:10:45
レース終了時刻	13:49:21	15:22:17	13:26:15	14:51:47	11:23:20
参加艇数	28 艇	28 艇	28 艇	28 艇	28 艇
出走艇数	28 艇	28 艇	28 艇	28 艇	28 艇

2024/5/5 17:36

2024年度 西日本学生ヨット選手権大会

令和6年5月3日（金）～5日（日）

福岡市ヨットハーバー

最終成績

国際 ４７０ 級

艇順位	識別#	Belongs	Skipper	Crew	1R 着順	1R 確定	1R 得点	2R 着順	2R 確定	2R 得点	3R 着順	3R 確定	3R 得点	4R 着順	4R 確定	4R 得点	5R 着順	5R 確定	5R 得点	艇 合計	艇 得点	艇順位	団体得点	団体順位
1	10		濵田 登羽	関 蒼太	3	3	3	2	2	2	3	3	3	4	4	4	4	4	4	16	12	1		
6	11	日本経済大学 A	中村 乃々子	花田 佳	16	16	16	11	11	11	11	11	11	1	1	1	1	1	1	40	24	6	65.0	1
9	12		高橋 海音	長谷部 堅大	5	5	5	6	6	6	10	10	10	8	8	8	12	12	12	41	29	9		
10	4		池田 龍平	足立 健太郎	6	6	6	9	9	9	8	8	8	15	15	15	7	7	7	45	30	10		
5	5	福岡大学	藤田 奏音	渡邉 結来	9	9	9	1	1	1	6	6	6	7	7	7	17	17	17	40	23	5	70.0	2
3	6		幸野 翔太	竹原 陽太	8	8	8	8	8	8	1	1	1	6	6	6	2	2	2	25	17	3		
8	13		有村 はるな	姫野 咲笑	11	11	11	7	7	7	5	5	5	5	5	5	19	19	19	47	28	8		
11	14	日本経済大学 B	中村 奏絵	三輪 晃汰	10	10	10	12	12	12	16	16	16	2	2	2	11	11	11	51	35	11	118.0	3
15	15		森内 和希	小田切 詞音	12	12	12	14	14	14	20	20	20	13	13	13	16	16	16	75	55	15		
12	1		伊藤 舞梨	伊井 宥景	7	7	7	5	5	5	19	19	19	9	9	9	14	14	14	54	35	12		
13	2	九州大学	城 毅	永田 蒼馬	13	13	13	3	3	3	15	15	15	10	10	10	10	10	10	51	36	13	130.0	4
18	3		前田 将太郎	恩田 旭	15	15	15	15	15	15	14	14	14	19	19	19	15	15	15	78	59	18		
14	16		北 修紋	中鉢 賢匠	14	14	14	18	18	18	2	2	2	17	17	17	6	6	6	57	39	14		
19	17	鹿屋体育大学	深江 夏鈴	牧口 千貴	18	18	18	19	19	19	17	17	17	12	12	12	22	22	22	88	66	19	189.0	5
21	18		秦 洪作	山口 栞華	UFD	UFD	29	24	DNE	29	12	12	12	18	18	18	25	25	25	113	84	21		
17	7		武田 宙大	阿川 陽香	19	19	19	13	13	13	18	18	18	20	20	20	8	8	8	78	58	17		
25	8	西南学院大学	釜山 大輝	大平 彩佳	24	24	24	26	25	25	25	25	25	23	23	23	21	21	21	118	93	25	262.0	6
28	9		早川 芽唯	岩田 篤志	DNS	DNS	29	DNF	DNF	29	27	27	27	28	28	28	27	27	27	140	111	28		
22	19		小倉 直人	中西 洸	20	20	20	20	20	20	24	24	24	22	22	22	26	26	26	112	86	22		
24	20	長崎大学	梶原 快	繁田 凰聖	21	21	21	21	21	21	26	26	26	25	25	25	23	23	23	116	90	24	270.0	7
26	21		加藤 大智	崎山 耕喜	23	23	23	25	24	24	23	23	23	26	26	26	24	24	24	120	94	26		
20	22	九州大学	山上 朝己	金子 朔也	22	22	22	22	22	22	21	21	21	21	21	21	18	18	18	104	82	20		
23	23	九州大学	泉 幸来	森 悠生	UFD	UFD	29	23	23	23	22	22	22	24	24	24	20	20	20	118	89	23		
27	24	西南学院大学	栄田 直輝	井本 明大	25	25	25	27	26	26	28	28	28	27	27	27	RET	RET	29	135	106	27		
16	25	日本経済大学	糸瀬 雅玖翔	北方 雄悟	17	17	17	16	16	16	13	13	13	14	14	14	13	13	13	73	56	16		
2	26	湘南サニーサイドマリーナヨットクラブ	中山 由菜	池田 隼太	1	1	1	4	4	4	7	7	7	3	3	3	9	9	9	24	15	2		
7	27	医療法人才全会	五嶋 杏莉	木原 寛太	4	4	4	17	17	17	9	9	9	11	11	11	3	3	3	44	27	7		
4	28	宮崎県セーリング連盟	宮本 健吾	今津 雄登	2	2	2	10	10	10	4	4	4	16	16	16	5	5	5	37	21	4		

レース オフィサー
代理 勝田　哲英
プロテスト委員長
岡部　幸司
テクニカル委員長
0
記録部長
岩瀬　広志

レース日	3-May-24	3-May-24	24-May-04	24-May-04	5-May-24
天　候	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り
風　向	350°	340°	340°	350°	180°
風　速 (kt)	7kt	7kt	8kt	7kt	9kt
スタート時刻	13:00:00	14:25:00	12:35:00	14:00:00	10:35:00
最初の艇ﾌｨﾆｯｼｭ時刻	13:42:53	15:07:17	13:16:39	14:44:02	11:10:45
レース終了時刻	13:49:21	15:22:17	13:26:15	14:51:47	11:23:20
参加艇数	28 艇	28 艇	28 艇	28 艇	28 艇
出走艇数	28 艇	28 艇	28 艇	28 艇	28 艇

2024/5/5 17:36

2024年度 九州学生ヨット選手権大会（団体戦）

2024年10月12日（土）～10月14日（日）

福岡市西区　福岡市ヨットハーバー

国際 ４７０ 級

艇順位	Ent#	Sail#	大学名	艇　長	クルー	1R 着順	1R 確定	1R 得点	2R 着順	2R 確定	2R 得点	3R 着順	3R 確定	3R 得点	4R 着順	4R 確定	4R 得点	5R 着順	5R 確定	5R 得点	6R 着順	6R 確定	6R 得点	7R 着順	7R 確定	7R 得点	艇 合計	艇 得点	艇 順位	団体 得点	団体 順位
1	1	4816		濱田　登羽	三輪　晃汰	1	1	1	4	4	4	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	20	20	1		
4	2	4800	日本経済大学	高橋　海音	関　蒼太	UFD	UFD	19	2	2	2	5	5	5	8	8	8	2	2	2	1	1	1	3	3	3	40	40	4	114.0	1
9	3	4813		中村　乃々子	花田　佳	7	7	7	10	10	10	9	9	9	13	13	13	6	6	6	8	8	8	1	1	1	54	54	9		
5	7	4832		伊藤 舞梨	伊井 宥景	5	5	5	1	1	1	6	6	6	7	7	7	9	9	9	4	4	4	9	9	9	41	41	5		
3	8	4814	九州大学	城 毅	永田 蒼馬	3	3	3	6	6	6	8	8	8	9	9	9	1	1	1	2	2	2	5	5	5	34	34	3	120.0	2
6	9	4717		前田 将太郎	金子 朔也	6	6	6	3	3	3	4	4	4	6	6	6	11	11	11	7	7	7	8	8	8	45	45	6		
2	4	4855		藤田　奏音	春山　祥輝	4	4	4	9	9	9	1	1	1	1	1	1	7	7	7	6	6	6	2	2	2	30	30	2		
7	5	4808	福岡大学	池田　龍平	足立　健太郎	2	2	2	7	7	7	7	7	7	4	4	4	5	5	5	11	11	11	10	10	10	46	46	7	130.0	3
10	6	4750		幸野 翔太	竹原 陽太	UFD	UFD	19	5	5	5	3	3	3	2	2	2	4	4	4	10	10	10	11	11	11	54	54	10		
8	10	4467		北　修紋	中鉢　賢匠	8	8	8	8	8	8	10	10	10	5	5	5	8	8	8	5	5	5	6	6	6	50	50	8		
11	11	4407	鹿屋体育大学	深江　夏鈴	山口　栞華	12	12	12	12	12	12	11	11	11	10	10	10	10	10	10	12	12	12	15	15	15	82	82	11	220.0	4
12	12	4337		秦　洪作	牧口　千貴	9	9	9	11	11	11	14	14	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	14	14	14	88	88	12		
15	16	4453		小倉　直人	中西　洸	10	10	10	13	13	13	16	16	16	15	15	15	15	15	15	14	14	14	12	12	12	95	95	15		
14	17	4454	長崎大学	梶原　快	繁田　凰聖	13	13	13	17	17	17	13	13	13	11	11	11	17	17	17	15	15	15	7	7	7	93	93	14	296.0	5
16	18	4582		加藤　大智	崎山　耕喜	15	15	15	14	14	14	15	15	15	12	12	12	16	16	16	RET	RET	19	17	17	17	108	108	16		
13	13	4480		武田　宙大	大平　彩佳	11	11	11	16	16	16	12	12	12	16	16	16	12	12	12	9	9	9	13	13	13	89	89	13		
18	14	4308	西南学院大学	早川　芽唯	岩田　篤志	14	STP	15	RET	RET	19	18	17	17	18	18	18	18	18	18	16	16	16	16	16	16	119	119	18	327.0	6
17	15	4287		若生　さやか	井本　明大	UFD	UFD	19	15	15	15	17	NSC	19	17	17	17	14	14	14	17	17	17	18	18	18	119	119	17		

レース オフィサー
五十川　浩司
プロテスト委員長
岡部　幸司
テクニカル委員長
吉岡　岳史
記録部長
岩瀬　広志

レース日	12-Oct-24	12-Oct-24	13-Oct-24	13-Oct-24	13-Oct-24	13-Oct-24	14-Oct-24
天　候	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り
風　向	0°	10°	50°	55°	15°	15°	105°
風　速 (kt)	12kt	11kt	8-9kt	7-9kt	11kt	10-12kt	8-10kt
スタート時刻	13:05:00	14:20:00	12:20:00	13:30:00	15:00:00	16:15:00	12:30:00
最初の艇ﾌｨﾆｯｼｭ時刻	13:43:15	14:57:54	12:59:27	14:08:23	15:39:50	16:51:48	13:06:32
レース終了時刻	13:49:00	15:02:07	13:06:00	14:13:26	15:47:00	17:04:42	13:15:15
参加艇数	18 艇	18 艇	18 艇	18 艇	18 艇	18 艇	18 艇
出走艇数	18 艇	18 艇	18 艇	18 艇	18 艇	18 艇	18 艇

2024/10/14 15:00

長崎大学ヨット部琴風会会則

第一条　本会は長崎大学ヨット部卒業生間の親睦交流及び長崎大学ヨット部の後援を目的とする。

第二条　本会は長崎大学ヨット部卒業生及び長崎大学ヨット部に功績のあった者で本会総会で承認された者より構成される。

第三条　本会に会長一名、副会長一名、役員若干名、会計一名、顧問数名を置く。

第四条　会長・副会長・役員・会計・顧問は総会の互選又は推薦による。

第五条　会長は総務を司り副会長はこれを補佐する。
役員は毎卒業年度の会員との連絡を密にし会の運営を司る。

第六条　役員会は会長の意のもとに任時かいさいする。
本会の運営は総会及び役員会の議決による。

第七条　毎年夏期に総会を開催する。その際、新年度の役員を改選し会計報告を行う。

第八条　第一条の目的の為、OB レース・クルージング、現役部員と共に合宿訓練などを行う。

第九条　会計は会員の会費及び寄付金によって運営する。
会費は年間五千円とし、会計年度は 4 月から 3 月までとする。

第十条　本会の名称を琴風会と称し、事務所は福田ゆたか外科医院とする。

第十一条　5 年以上会費未納の場合は「琴風」の発送を停止する。但し、その後会費納付の際はその限りにあらず。
70 歳を超える会員については、会費納入は任意とする。

編集後記

本年度も沢山の原稿をいただき賑やかな琴風誌ができました。
Web版では写真をカラーで掲載しています。スマートフォン・PCで“長崎大学ヨット部琴風会”にアクセスいただき、楽しい写真をご覧ください。

皆様の寄稿を楽しみにしております。また、琴風誌について、ご意見・ご希望を是非お寄せください。

貝原　宗重

2025年6月記

十八親和銀行　大学病院前支店　（普）30408　琴風会
ゆうちょ銀行　口座番号　01890-2-42326　琴風会

琴風51号

印刷発行　令和7年7月吉日
発 行 所　長崎大学ヨット部琴風会
編　　集　長崎大学ヨット部琴風会事務局
印 刷 所　石田コピーセンター（株）長崎市飽の浦町7－1

連 絡 先　琴風会事務局　貝原宗重
〒852-8061 長崎市滑石5－16－6
☎ &FAX：095－857-7973
E-mail: sps84na9@jupiter.ocn.ne.jp